

女のコの描き方

ゴー・オフィス
林 晃 著



演出とテクニック



女のコの描き方

演出テクニック

ゴー・オフィス 林 晃 著

グラフィック社

女性の権利

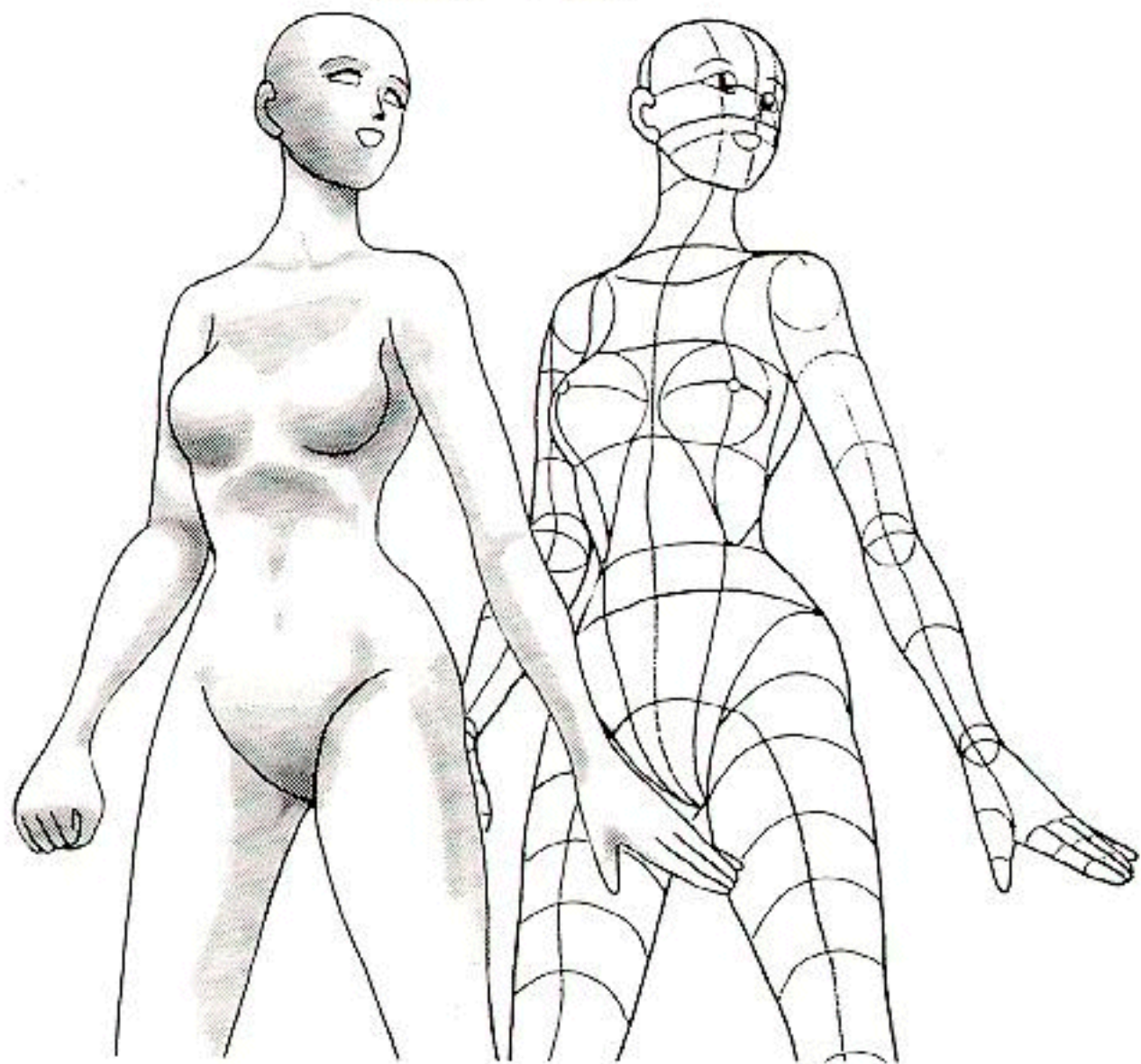
演者 山田 久子

目次

髪	… 85	第1章 女のコを描くセオリー	… 3
髪の毛表現のいろいろ	… 85	女のコを描くときの3つのセオリー	… 4
下着のいろいろ	… 88	人間の体について	… 6
Q&A 横顔を描くコツは？	… 94	女のコのからだの特徴	… 8
スクールシーンと女の子	… 95	ワイヤーフレームと陰影で見る肉体	… 10
1.着替え・ブラウス	… 95	骨格レベルの描き分け	… 12
2.はく・クツとソックス	… 96	3つの典型タイプ「描き分け」のポイント	… 14
3.鏡の前で・しぐさ	… 97	大人と子供のからだの違い	… 15
4.廊下を走る	… 98	大人と子供の顔の違い	… 16
5.イスにすわる	… 99	Q&A セオリー破りの大人、子供の描き分けかた	… 18
6.昼休み・制服で運動	… 100	第2章 女のコの体 ～胸とお尻と股間について～	… 19
7.更衣室で	… 101	実物トレスとマンガバランス	… 20
8.体着・体操着の着こなし	… 102	～デフォルメと省略のポイント～	… 20
9.体操着の処理・表現	… 103	バストについて	… 22
10.水泳・スクール水着	… 104	演出によるバスト表現	… 34
11.自転車に乗る	… 105	ファッションとバストライン	… 36
12.下校・外を歩く	… 106	おしりについて	… 38
第4章 マンガ家の表現テクニック	… 107	いろいろなお尻表現	… 39
セーラー少女／架空まさる	… 108	おしりの線について	… 40
キュート少女／松原じゃん	… 110	お尻の丸みを演出する	… 42
ムーディ・アダルト／松元保郎	… 112	股間部	… 44
ファンタジック・イリュージョン／原田守穂	… 114	股間部の立体感を曲線でとらえる	… 44
スポーツ少女／星野番長	… 116	動きとアングルから見る下半身	… 50
Healthy・Sexy／鈴木がんま	… 118	お尻・股間と脚の関係	… 52
ファニー・イラスト／安東章子	… 120	脚	… 54
コケティッシュ／まなべゆう	… 122	首とうなじ ～顔と胴体のつながり～	… 62
Beauty・Sexy／井上紀良	… 124	背中が丸い～腰のくびれが描けないとき～	… 64
		下着・水着と肉の柔らかさ	… 66
		肉体と水滴・汗の表現	… 68
		ワイヤーフレーム ～肉体の曲面をつかむ～	… 70
		ワイヤーフレームの利用	… 72
		Q&A 胸やお尻を強調しないで「女の尻」を表現するには？	… 74
		第3章 女のコを演出するテクニック	… 75
		ツメのいろいろ	… 76
		まぶた・ひとみ・まつげ	… 78
		口とくちびる	… 82
		ベタとトーンを使ったリップ処理	… 83
		耳とイヤリング・ピアス	… 84

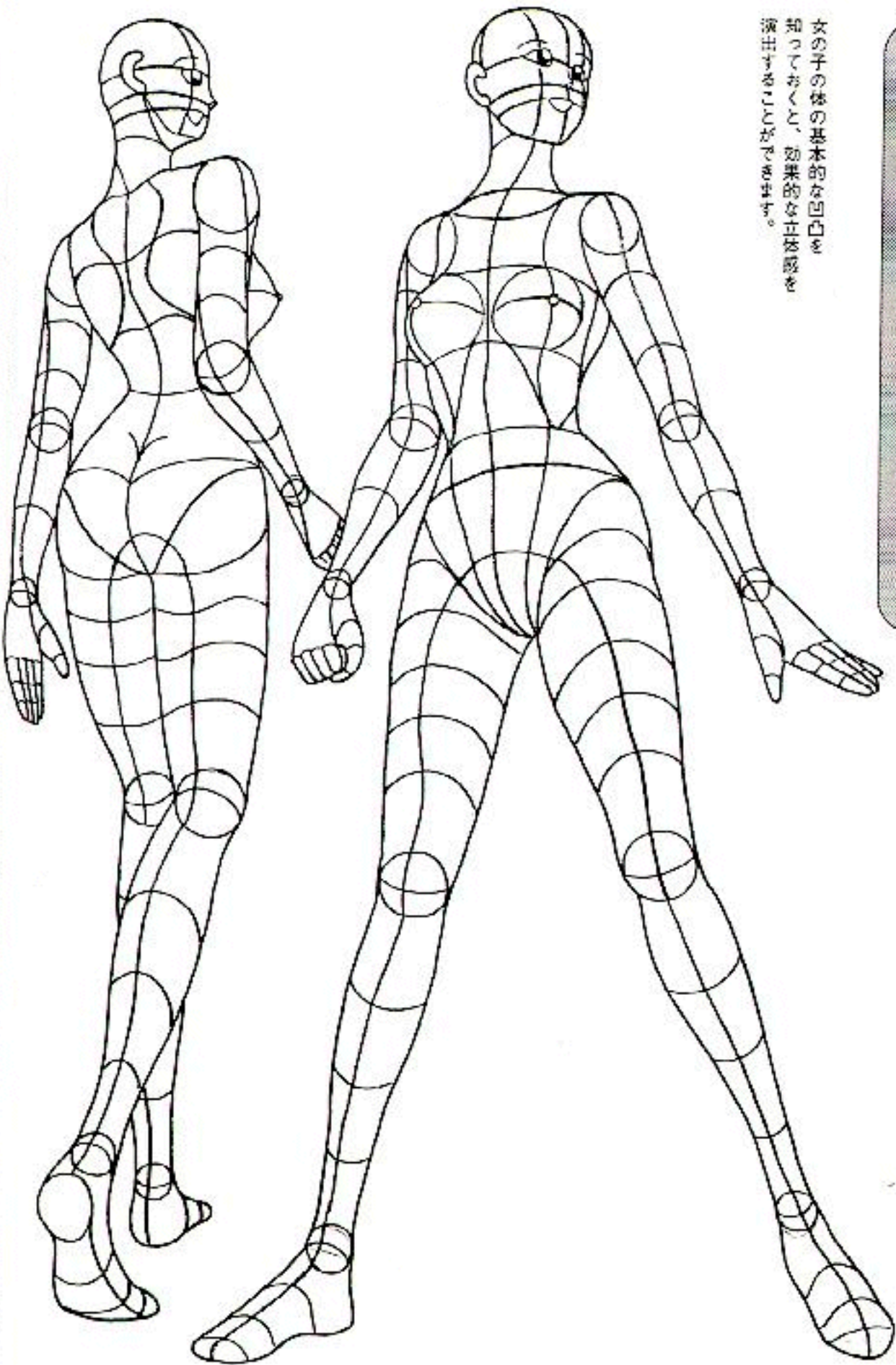
第1章

女の口を描く セオリー

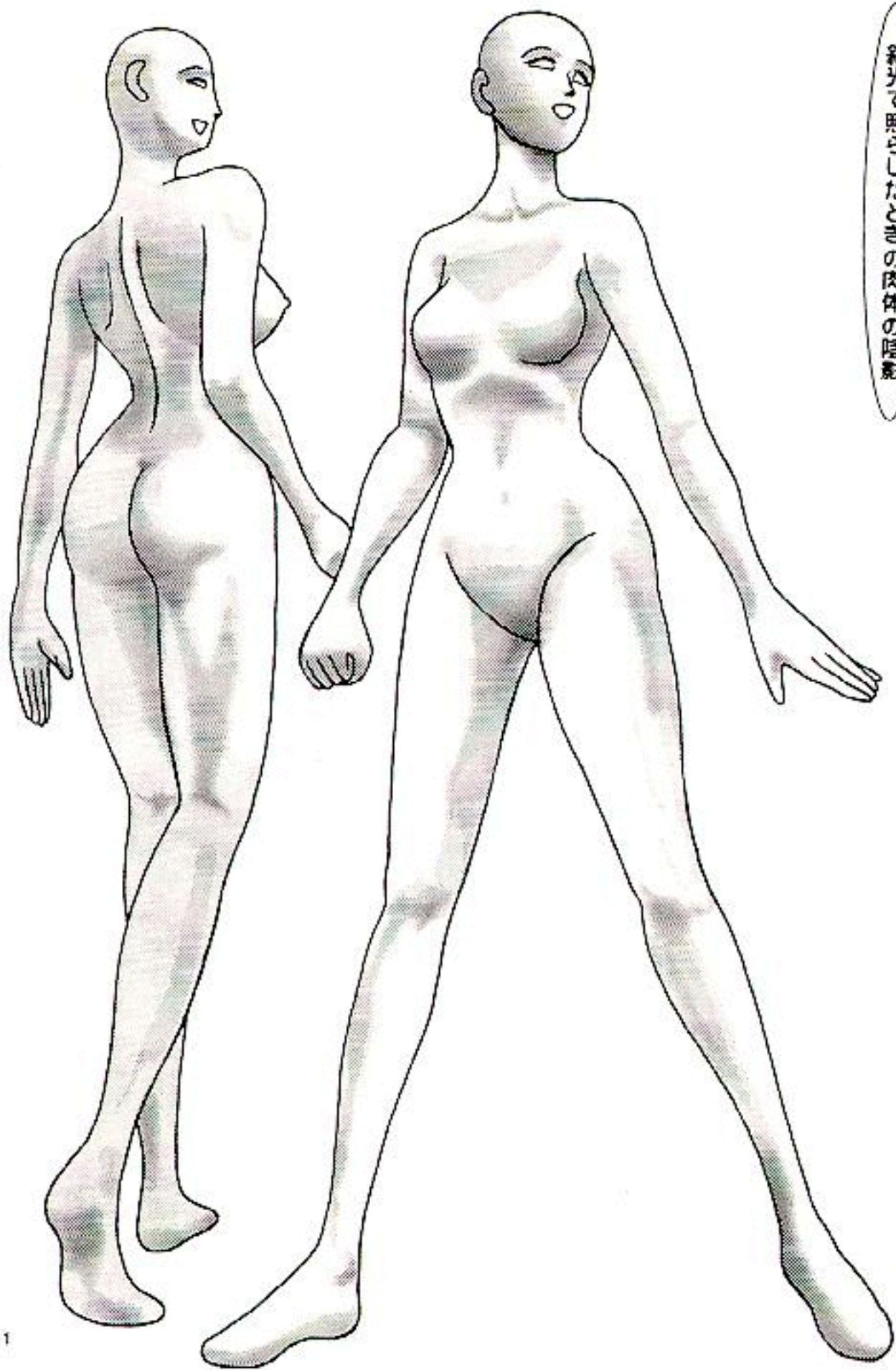


ワイヤーフレームと服の図解

女の子の体の基本的な凹凸を
知っておくと、効果的な立体感
演出することができます。



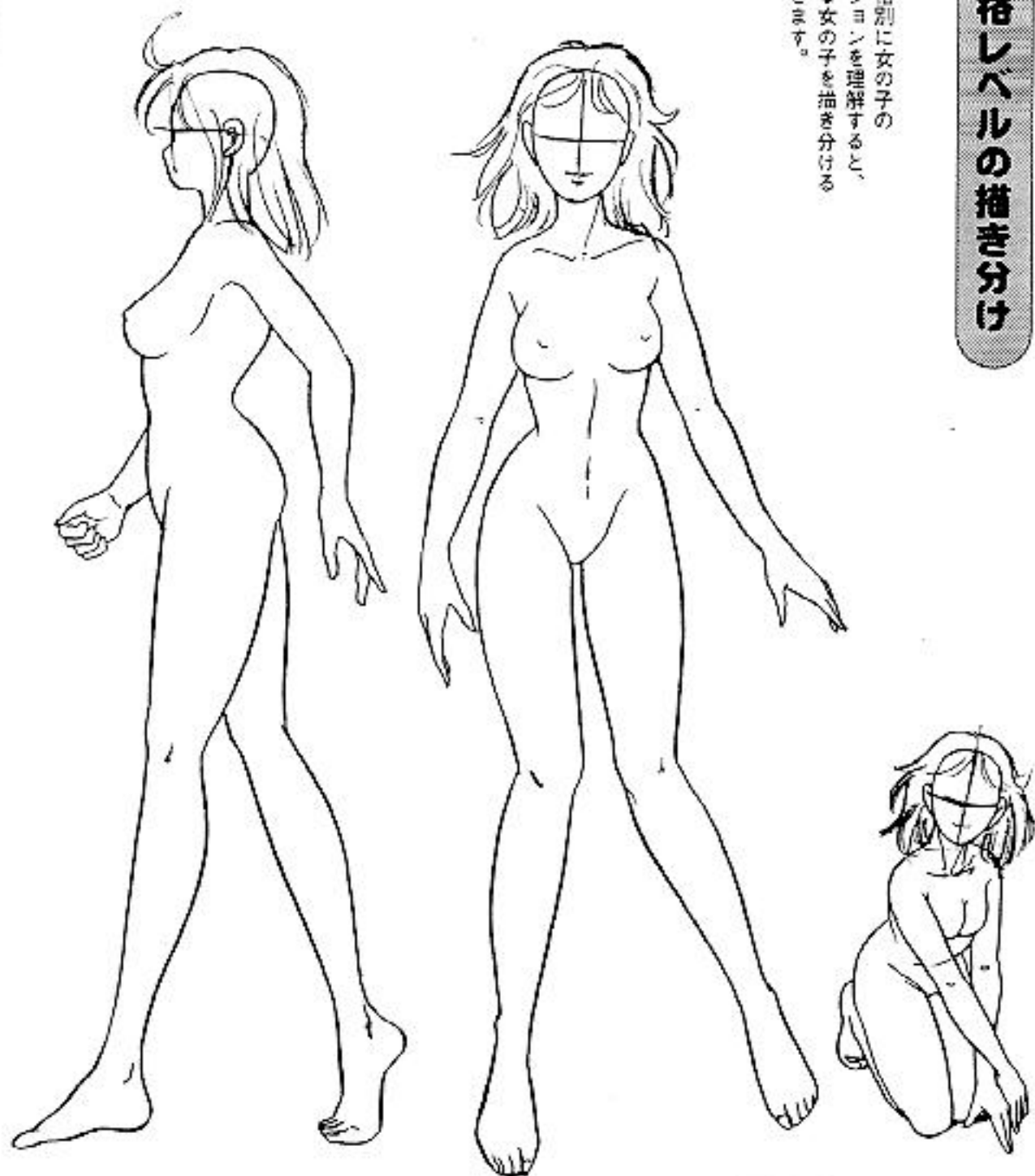
斜光で照らしたときの肉体の陰影



骨格レベルの描き分け

骨格・体格別に女の子の
プロポーションを理解すると、
いろいろな女の子を描き分ける
ことができます。

<普通タイプ>

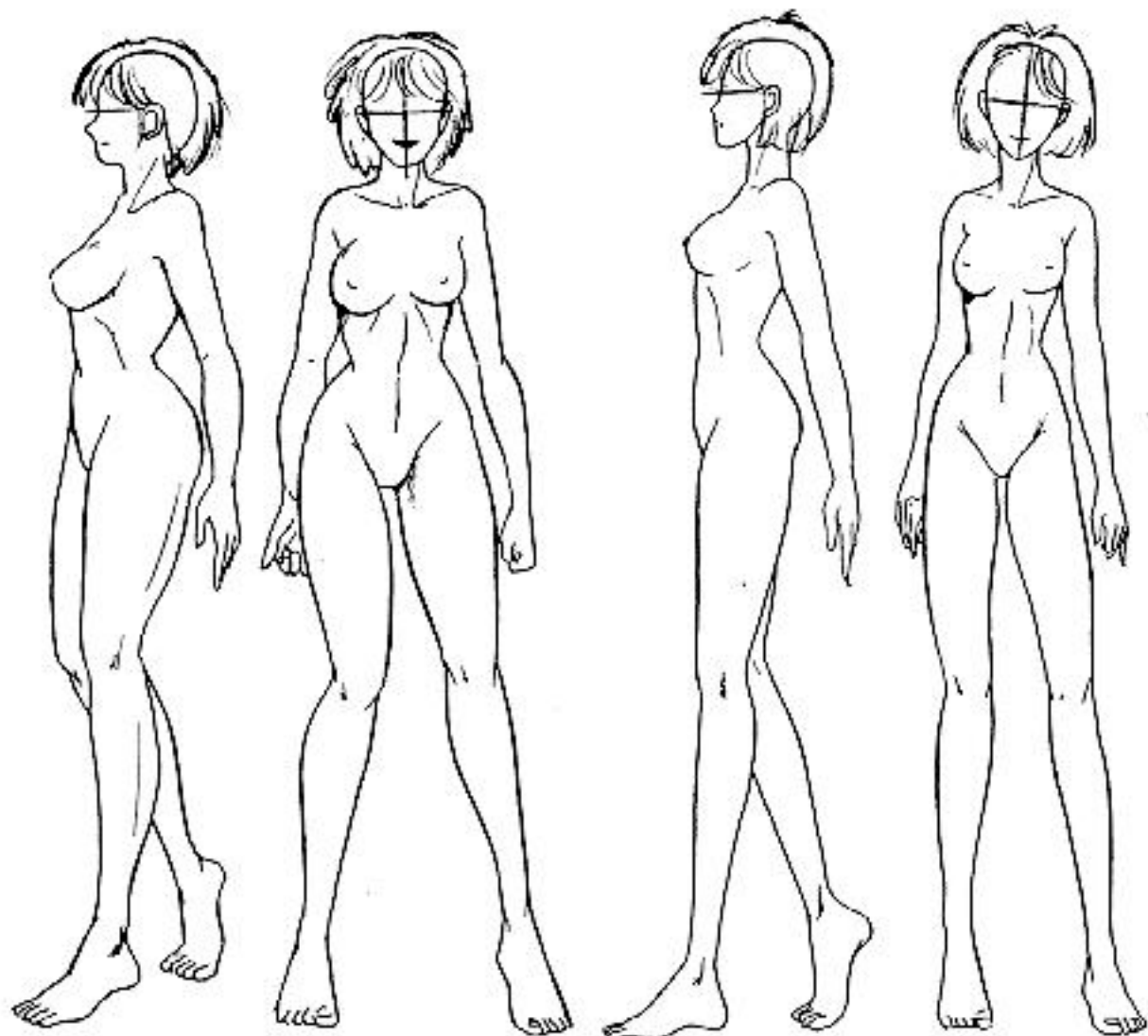


普通タイプ

- ・胸の下、おなかに丸みがある。
- ・胸板・ボディーそのものが丸っこく、胴体は短い
- ・肩、胸、腕、全てはほどほどに脂肪がついて、手足は長くてもふくよか。
- ・胸部からヒップまでのラインは最もメリハリのきいたS字カーブを描く
- ・お尻も大きい。

<スポーツタイプ>

<スリムタイプ>



スポーツタイプ

- ・ ほと胸
- ・ 呼吸器が発達していて、肩幅がある
- ・ 肘や膝、手首、足首などの関節部を細く引き締めて手足に筋肉のメリハリ(ほどほどにしないとマッチョになるので注意)
- ・ 太股は太くても膝に向かって筋肉がひきしまるので、最もシャープなカーブを描く



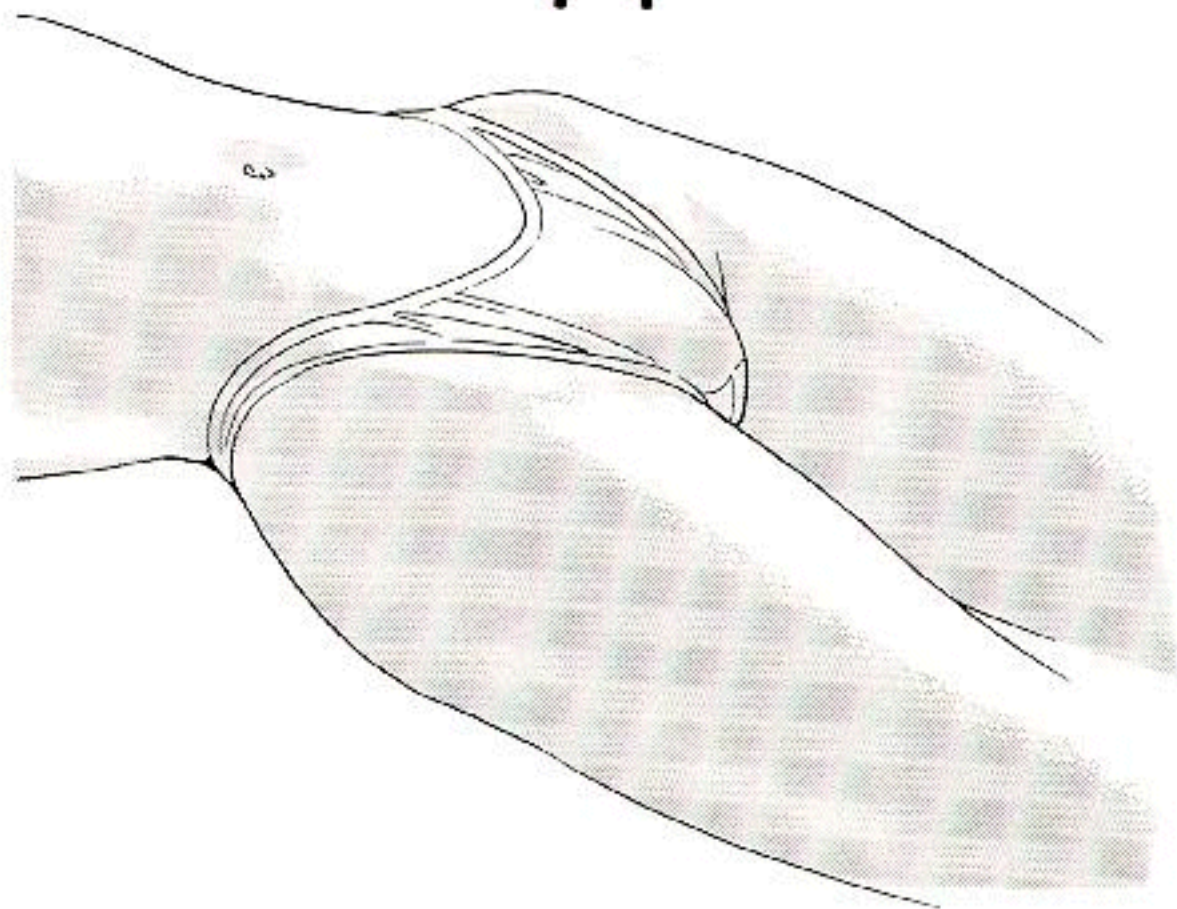
スリムタイプ

- ・ 首が長く、細め
- ・ 肩幅が狭く、脚板も薄いやなぎ腰
- ・ 比較的胸長
- ・ 手足もひょろっと細長い(不要な筋肉がついていない)
- ・ 胸部からヒップまでのラインが最もしなやかなS字カーブを描く



第2章

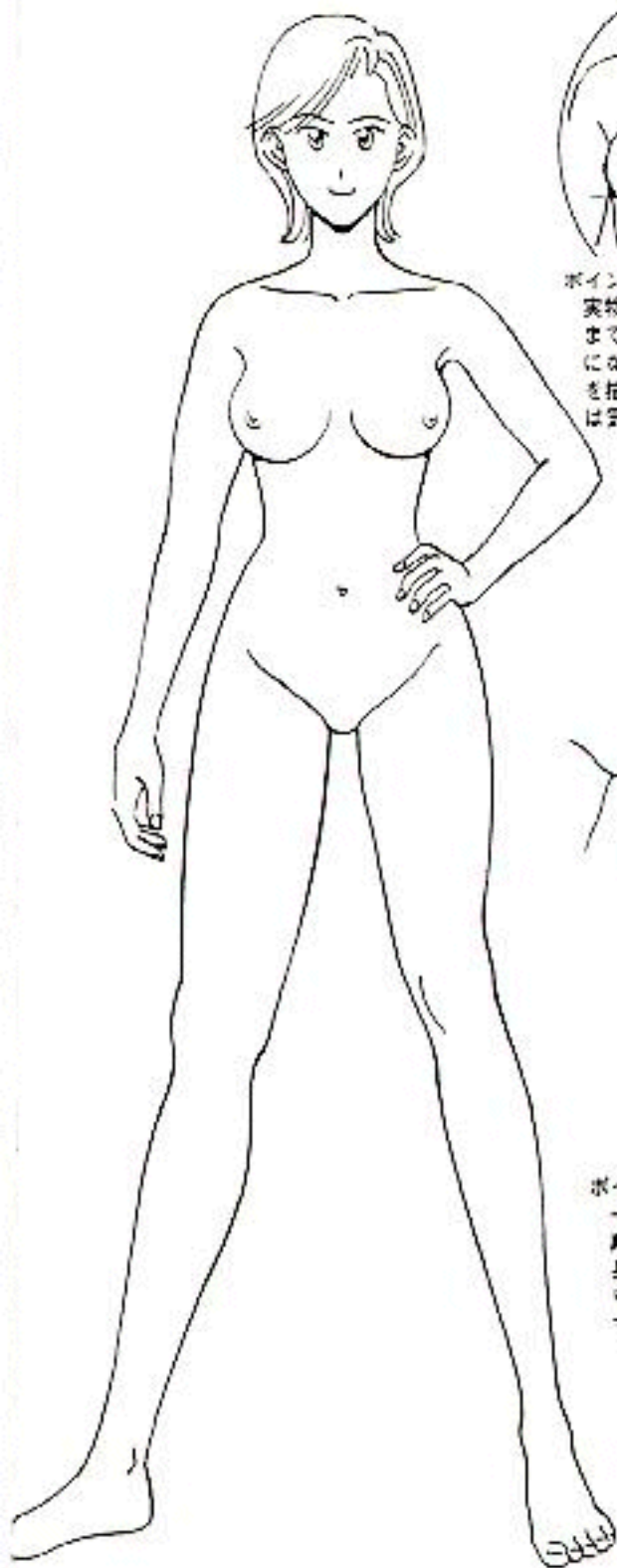
女の口の 体



実物トレスとマンガバランス

～デフォルメと省略のポイント～

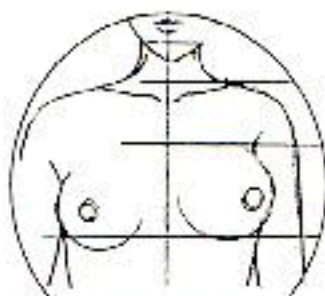
＜マンガバランス（例）＞



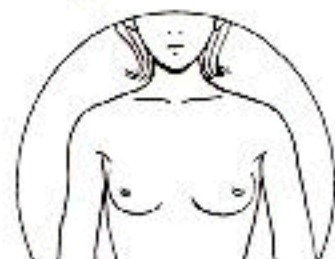
＜リアルバランス＞



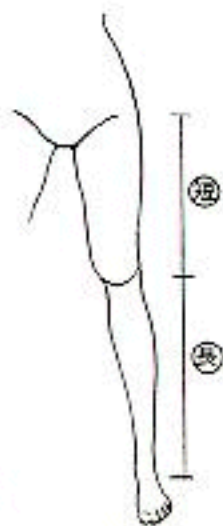
写真や資料を見てカッコイイ女の子を描くには、本物を自分なりに、デフォルメや省略、好みの体形にアレンジして描きます。



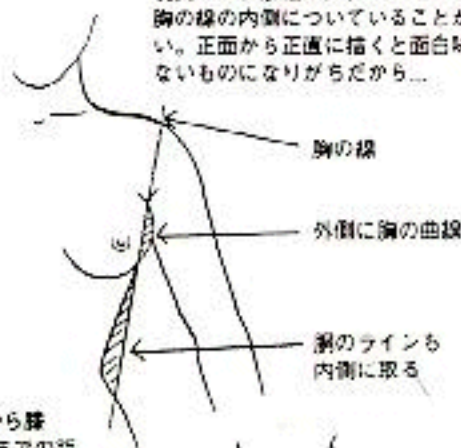
ポイント1 首と乳房の距離
実物に引きずられると、頭から胸までが変にまのびしたようなものになってしまう。純リアルタイプを描かないときは、乳房の生え際を気持ち上に取る。



ポイント2 オっぱイの扱い
現実には、余程の巨乳でない限り、胸の線の内側についていることが多い。正面から正直に描くと面白くないものになりがちだから...



ポイント3 脚：太股から膝
一般に、股上から膝までの距離と、膝から足首までは同じ長さだが、太股から膝までよりも、膝から下を少し長めにとると、カッコ良くなる。



ポイント4 膝
膝はあっさり描く。曲線ひとつでも、キュートな脚が演出できる。



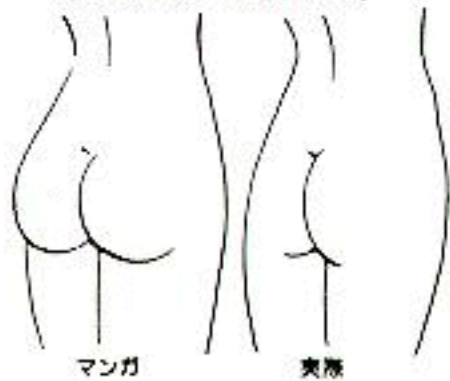
背面のしぐさ

背側は意外なほど凹凸があるが、通常背中を描くときによく使うのは…

1. 背骨と肩胛骨の筋
2. ヒップライン



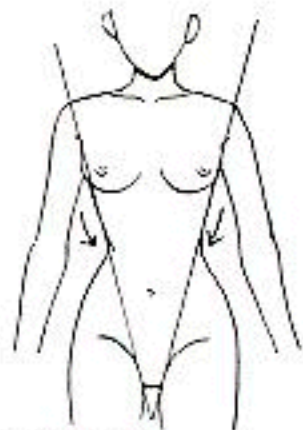
背中ポイント1 肉体のしわ
首や肩胛骨のあたりと、特に腰のあたりはシワがしやすいが、極力省略した方がキレイな背中になる。



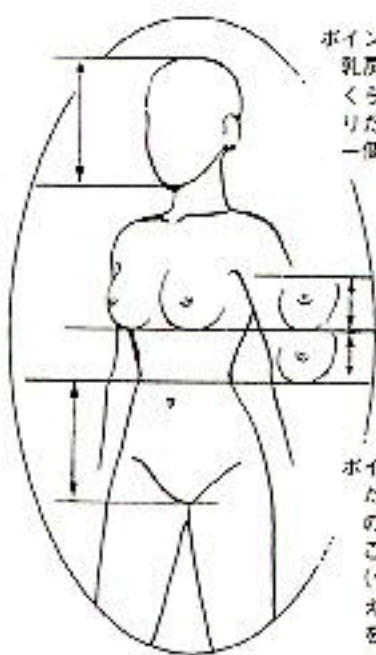
背面ポイント2 ヒップライン
マンガ的な「お尻の形」は、普通の立ちポーズでは現れない。Pg p 38



ポイント5 首
実際より長めにしたり、細くする。アングルによっては、単純に首を長くするとおかしなことがあるので気をつける。



ポイント6 胸部から腰
最も修正・アレンジの余地があるところ。リアルにするほどずんどうになることが多い。ウエストに坐るライン(脇腹)は、乳房と脇の接点から股間に向けて引くようなつもりで引く。



ポイント7 ウエストの位置
乳房の下から乳房もう一個くらい下に取ると、寸詰まりだがキュートになる。頭一個くらい下げると標準。

ポイント8 腰から股上
だいたい頭一個分くらいの長さを取るのが標準。この距離が短いとお尻(骨盤)自体が貧弱に見え、バランスの悪い印象を与える。

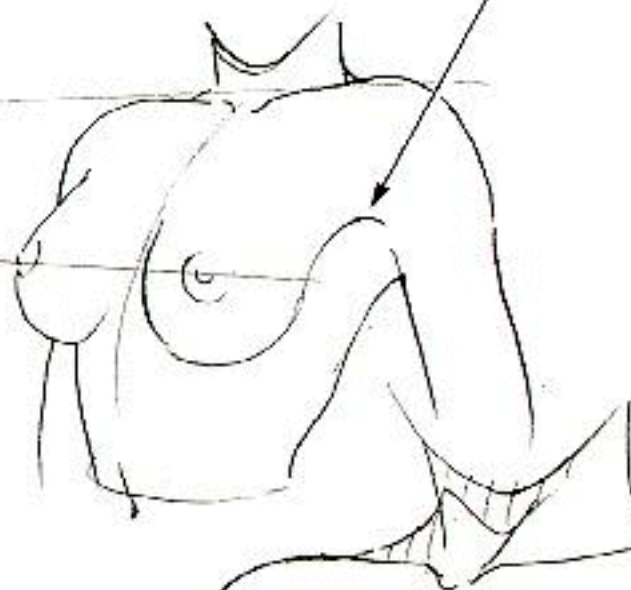
バスト
胸について



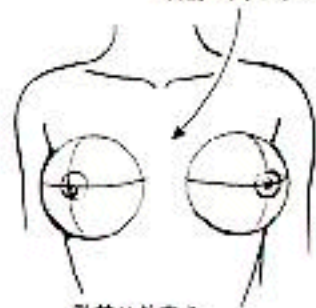
乳房は脇のラインから
はえている。



胸の構造
つきかた

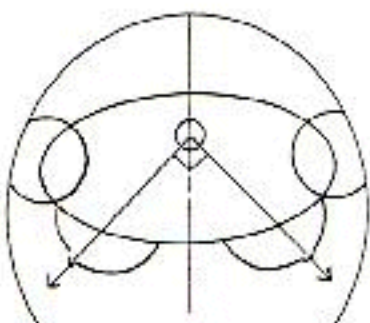


乳房の間はあいている。

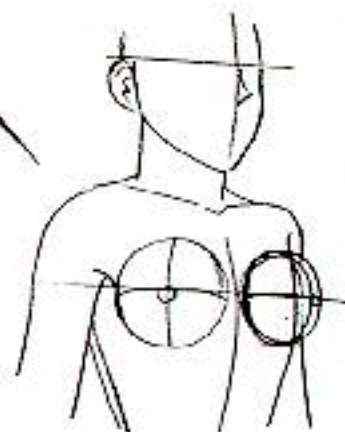
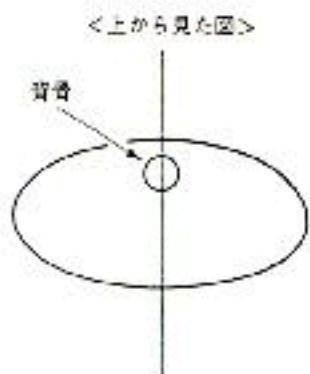
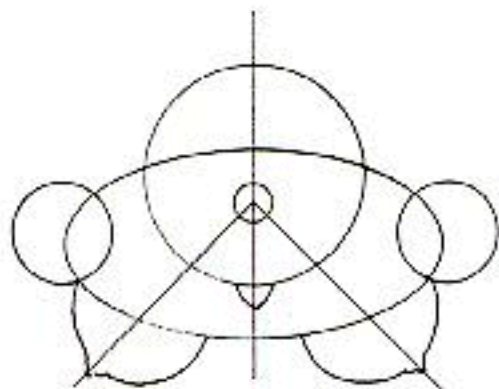


乳首は外向き

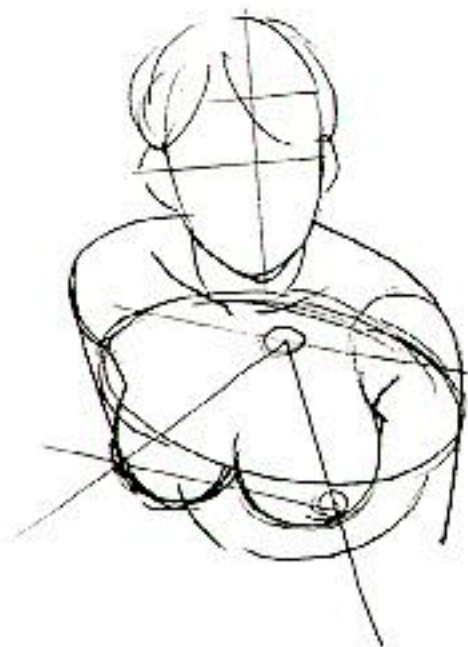




乳房、乳首は外向き。
個人差はあるが、背骨を
中心に90度の開きがある。

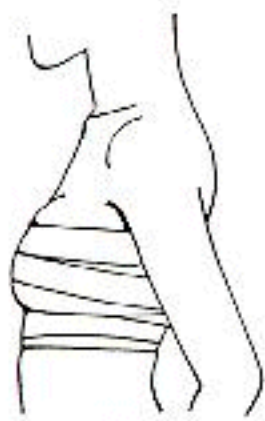
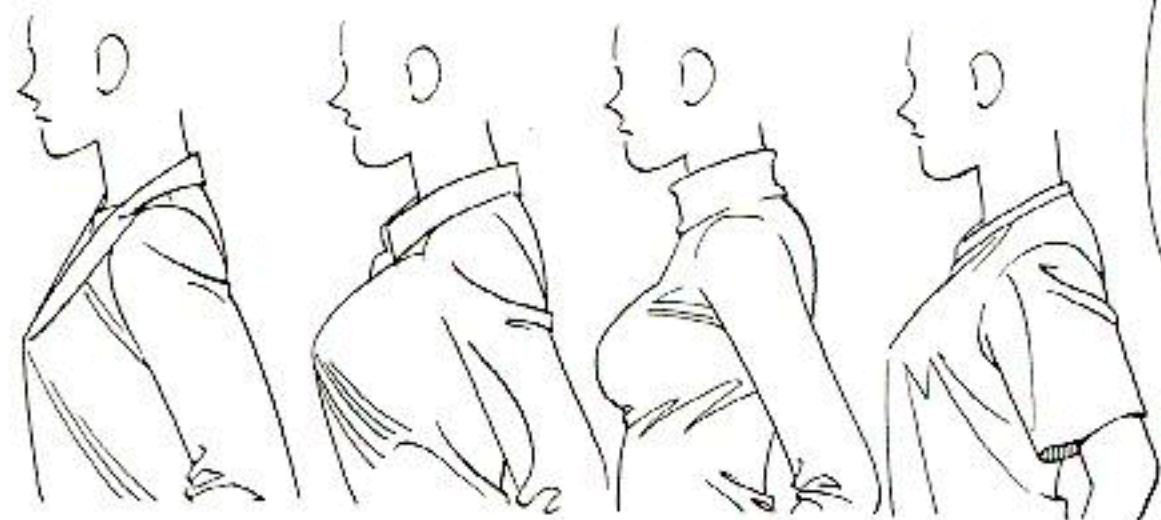


斜め横から見ると、
片方の胸はやや正面を向く

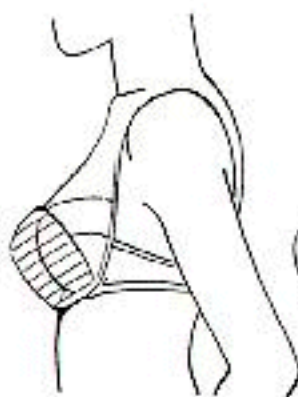


乳房はごく柔らかいので、衣服によって色々な表情に演出される。

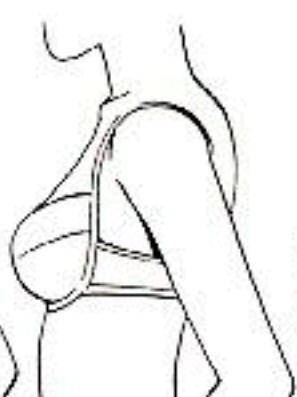
側面図シルエット



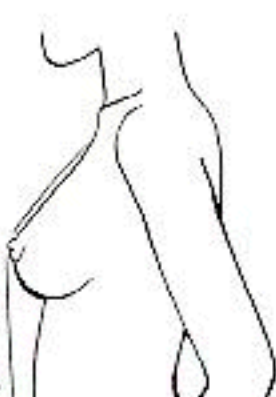
サラン等で圧迫した



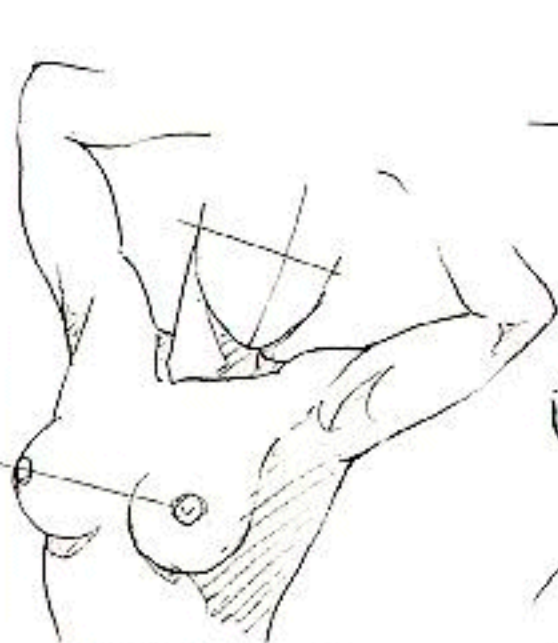
演出した形



形と大きさを大事にした服



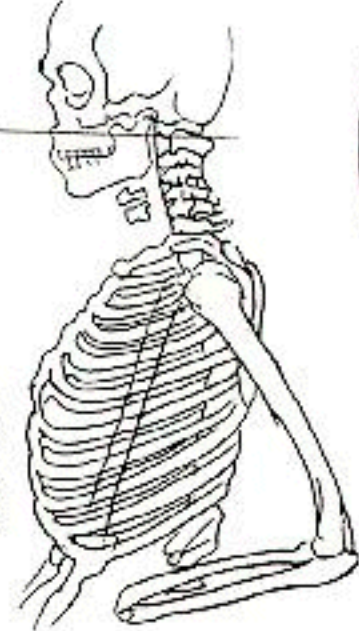
ノーブラ



脇の下との筋肉のつながり



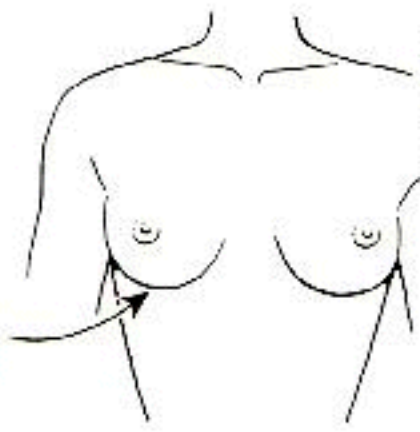
乳房は、胸の筋肉「大胸筋」の上に集まっている脂肪です。



骨格入解説

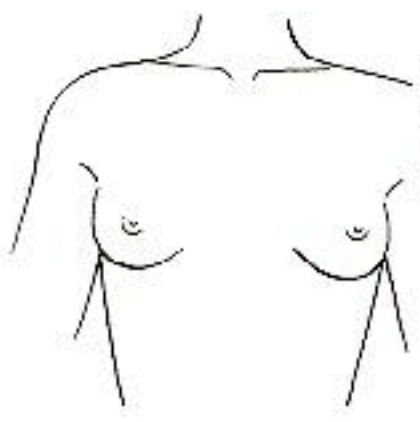
乳房の大きさと表現

(通常サイズ)

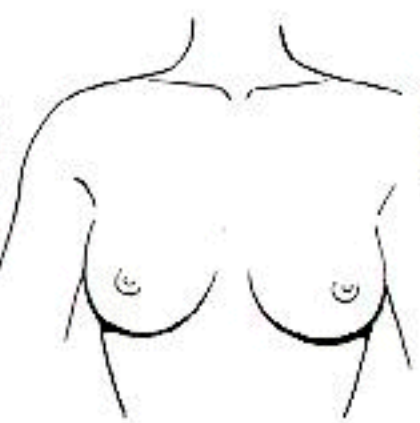


このラインをいれることで、乳房の丸みや立体感、重さが表現されるので、神経を使って描く。

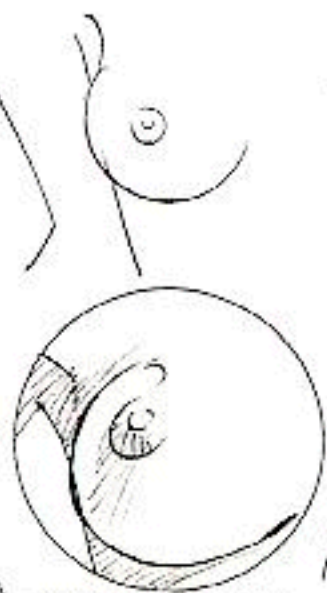
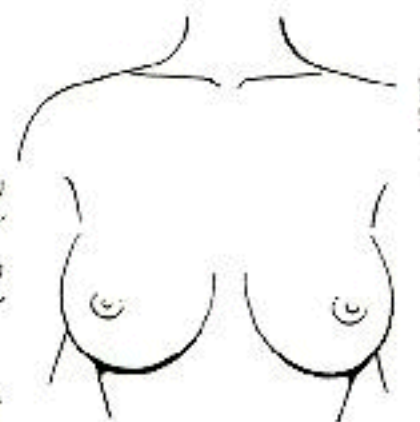
(やや小さい)



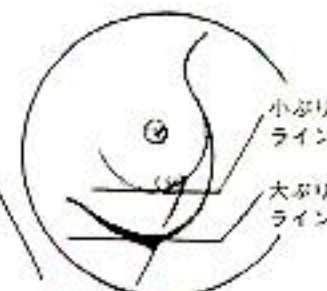
(やや大きい)



(巨乳)



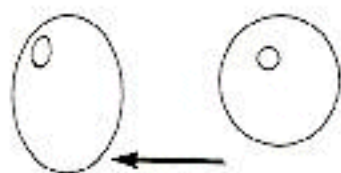
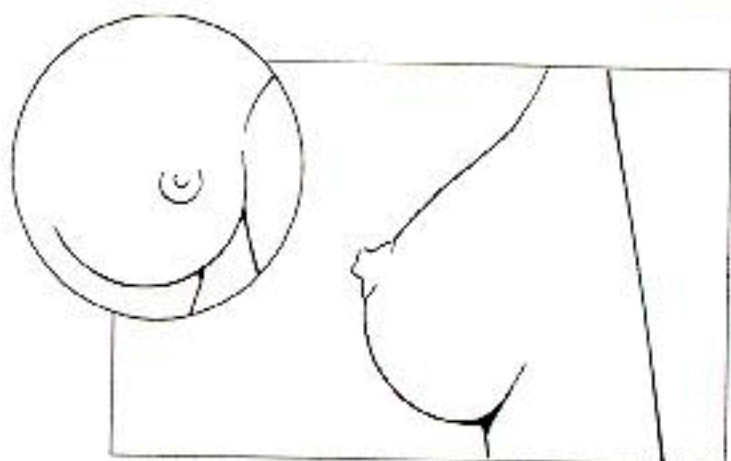
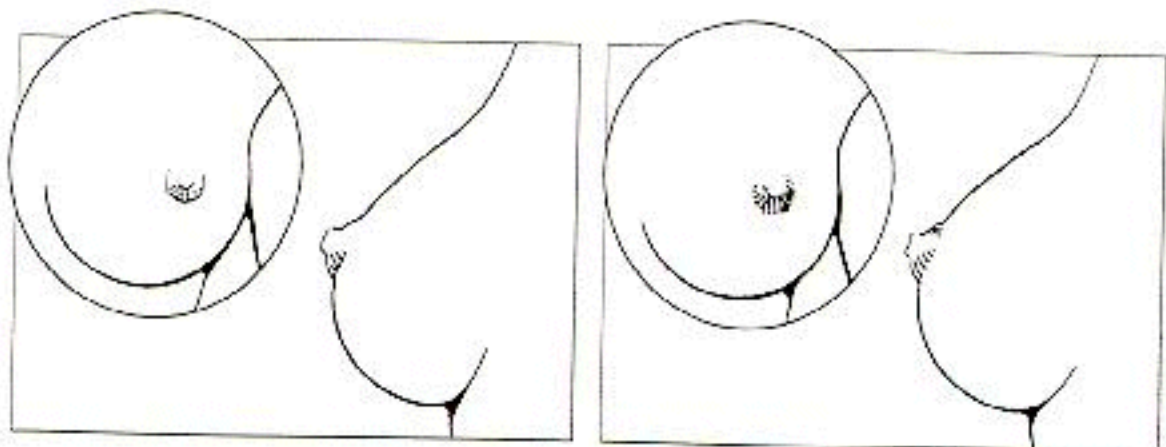
正面から見た乳房の輪郭は、大ぶりになるほどC字からS字になる。



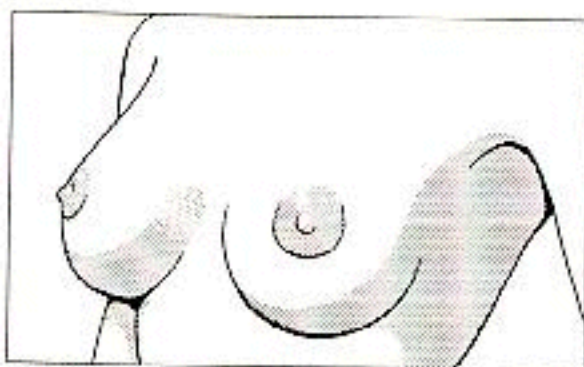
正面から見たバストの大小は、バスト下のラインを上下させて考える。

巨乳になるほど、自体の重さでたれてくる。

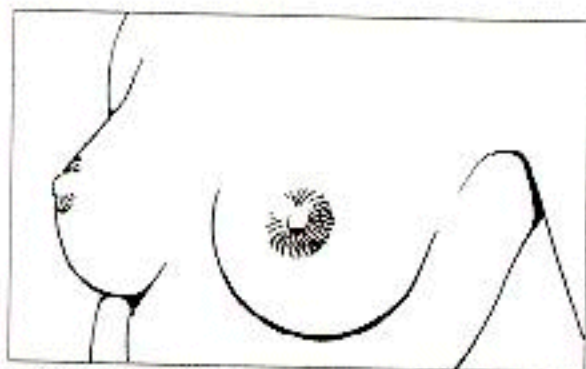
胸の下のラインは乳房が大きいほどしっかり描く。



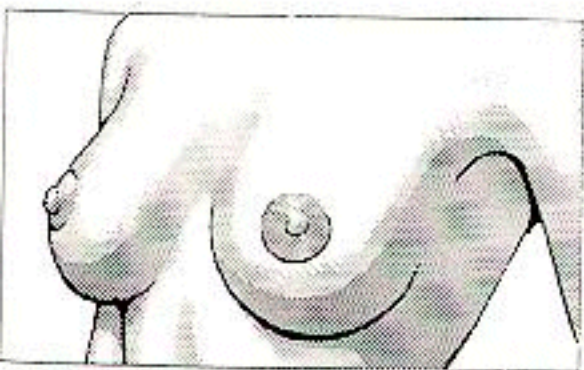
乳輪は、球面に描かれた円なので、いいかげんに描くと乳房の立体感そのものがおかしいものになってしまう。側面の場合、ボールなどに円を描いてどのような形になるか確認することもある。



ペンタッチとトーンで
あっさり処理したもの



ペンタッチのみ（御構）

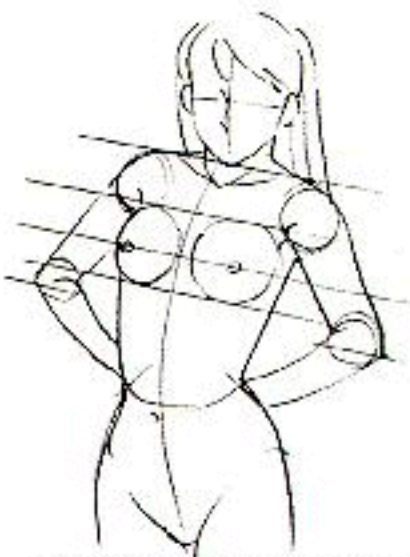
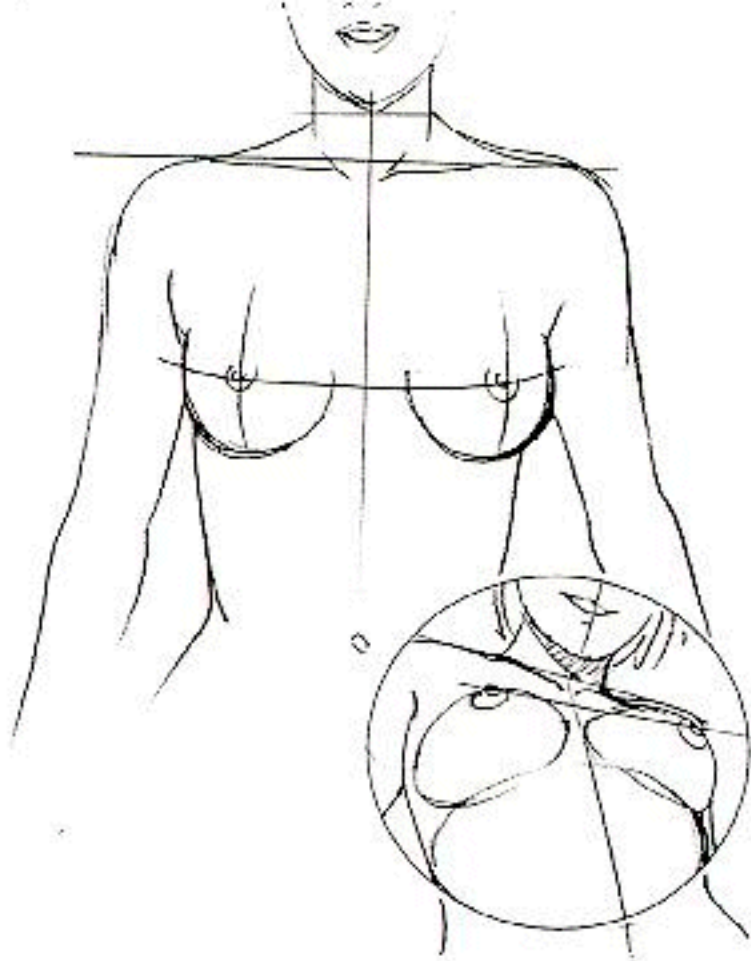


ペンタッチとトーンの重ね貼りで乳房の立体感、
乳輪・乳首の存在感をリアルに表現したもの。

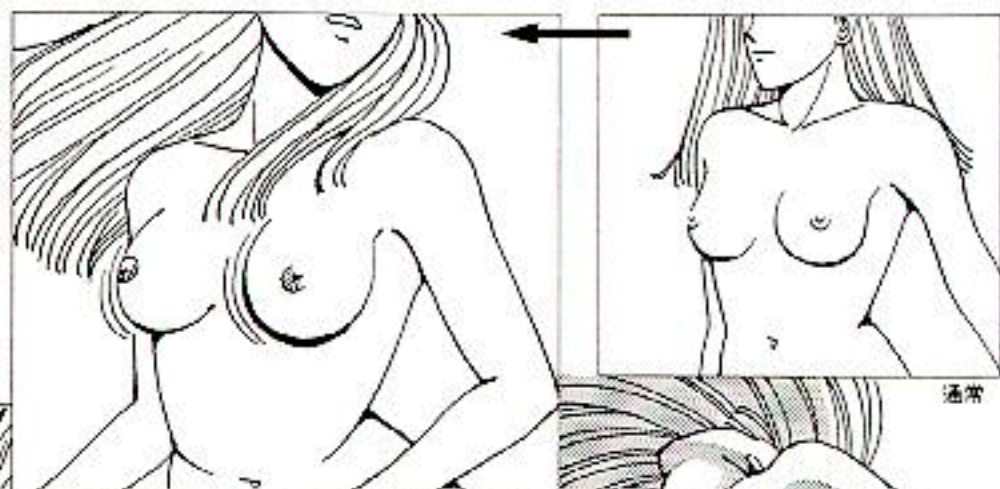


ペンを使わず、トーンのみで
表現したもの

バストの動きを表現する



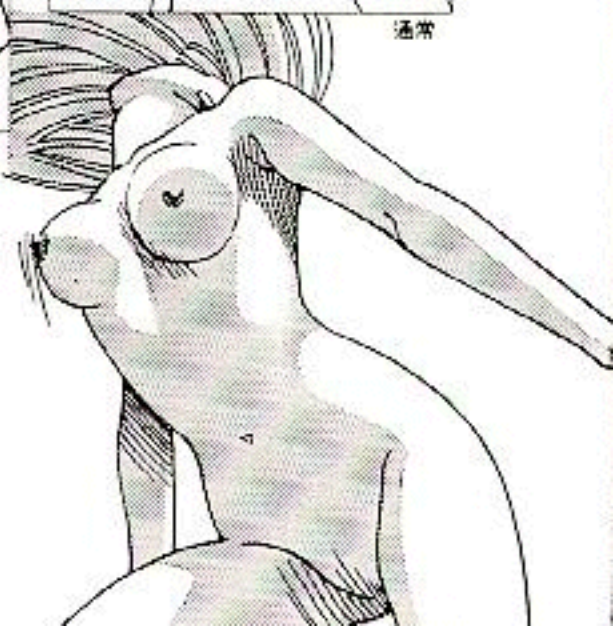
乳首の位置は左右とも大抵同じ高さにあるので、バストの位置決めやデッサンを習うときのポイントになる。

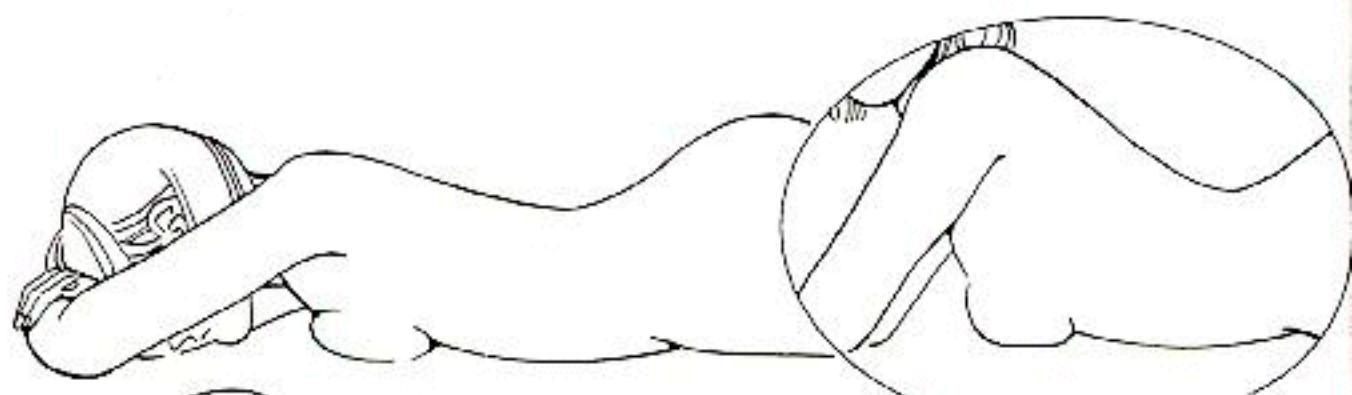
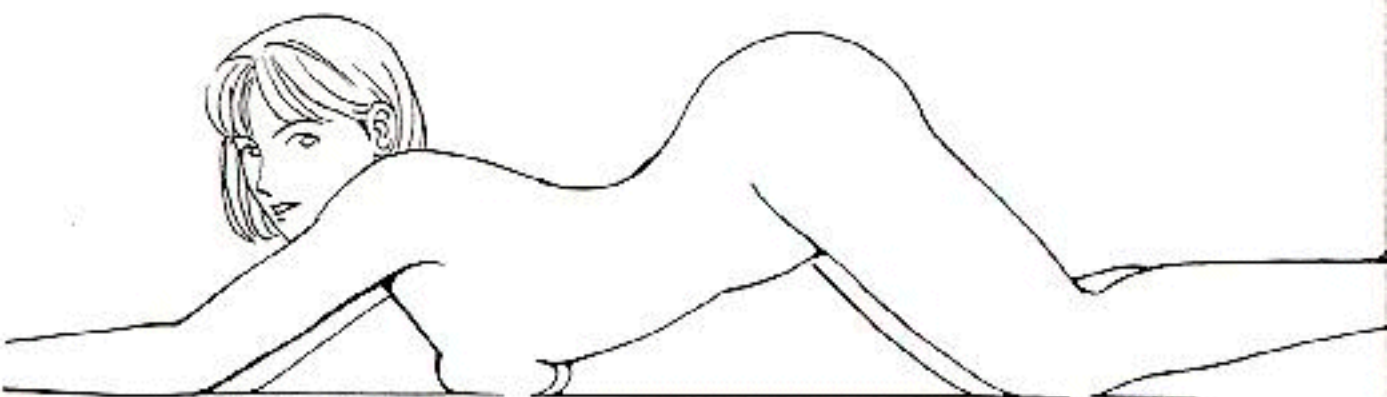
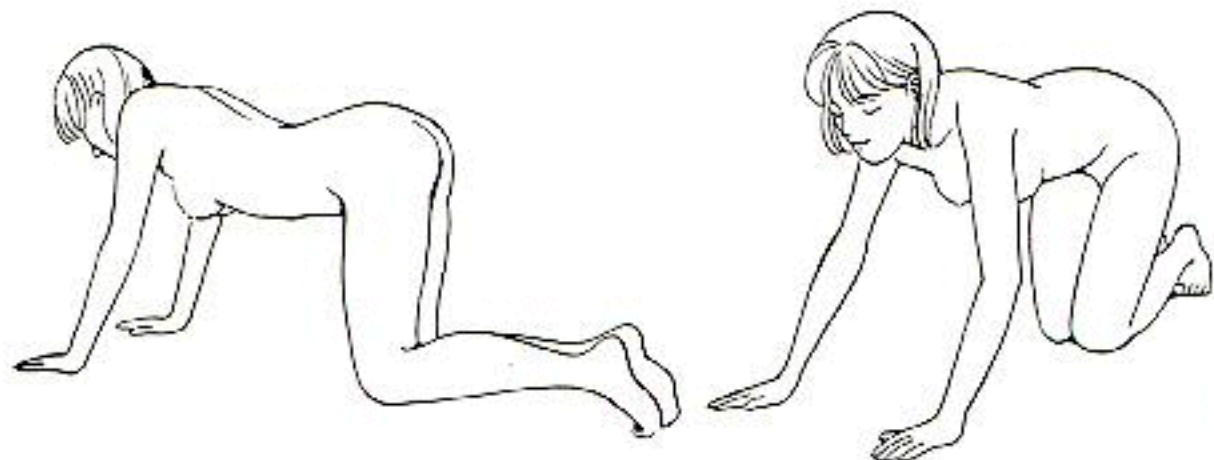


バストの動きは乳房の形と乳首の位置で表現する。



揺れ





床にべったり胸をつけたとき

胸が床に押しつけられる
・体重がかかると乳房はつぶれる。

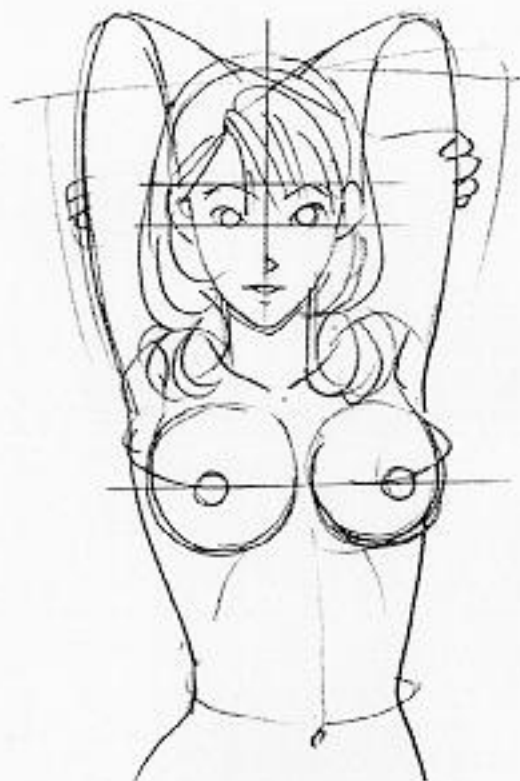


体重のかかり方（身のおこし方）で形も変わる。

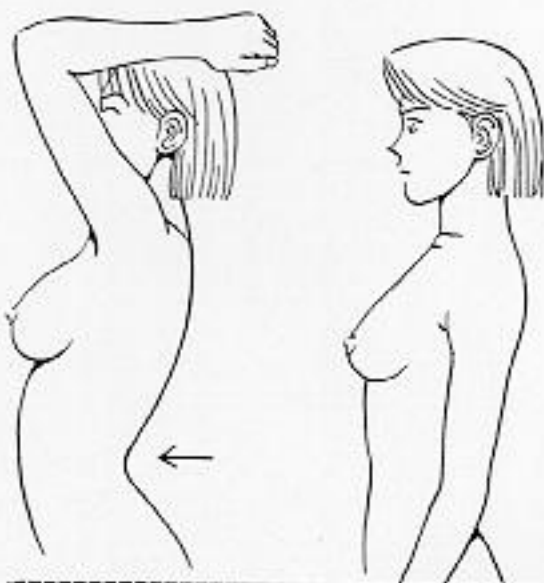
胸が大きいとボールを
つぶしたような形になる。



胸を大きく反らせたとき



胸をあげると胸の筋肉も上に
ひっぱられ、バストの形も変わる。



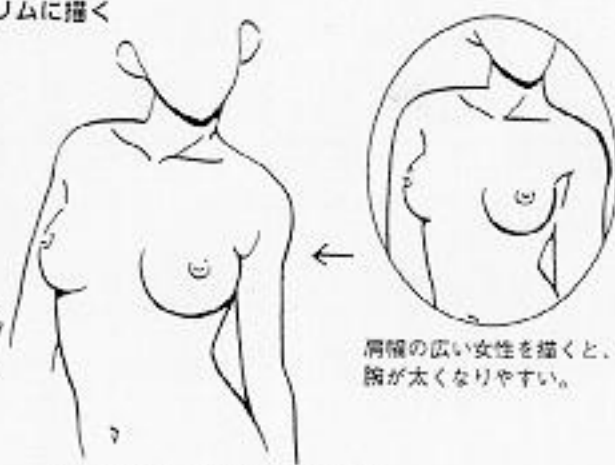
普通にしているときと、腕を上げた
ときの微妙な違いは、側面や斜め横
から見たときにはっきりわかる。

胸をスリムに描く



胸板を薄くして筋肉化

脇の下を描くときは胸板自体
を薄めに描くように心掛ける



肩幅の広い女性を描くと、
胸が太くなりやすい。

細い胸を描くときは肩の筋肉を引き
絞めて、肩と脇の下を短めに取る。

あおむけに寝たときの胸の描き方

あおむけに寝ると、
乳房は自重で
多少つぶれます。
つぶれた感じは
乳首の位置で表現
しましょう。



あおむけに寝ても、
乳首の方向は外向き



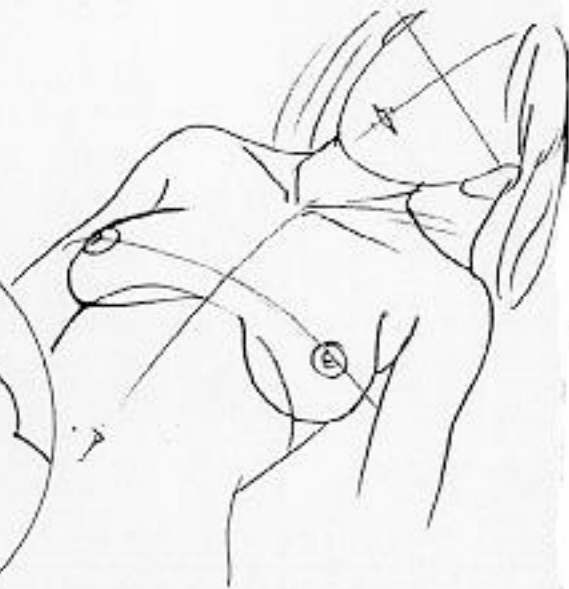
乳房の下のラインで、下から
あおって見た乳房が表現される。



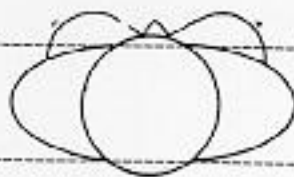
小ぶりの胸はあまりつぶれないが、
乳首を外側よりに描くことで、横に
なっているときの乳房を表現できる。



つぶれた感じは、乳首を
離して描くと表現できる。



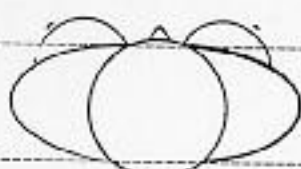
あおむけになると、巨乳ほど乳房は
平べったく感じにつぶれる。



巨乳



整々とした胸



小ぶりでも形のいい胸

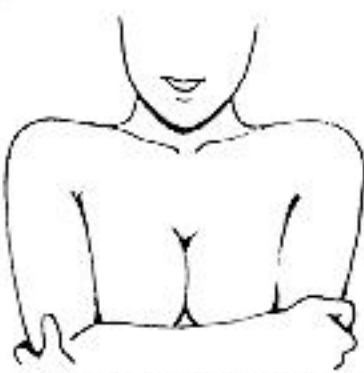
胸部の
厚み

演出によるバスト表現

線による表現の違い



線による印象の違い A：細い均一



線による印象の違い B：サインペン

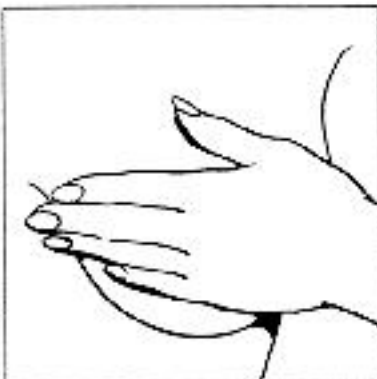


アングル、ポーズ的に胸を強調。
曲線をていねいに描いて、おっぱいの
柔らかさ、重量感を表現する。

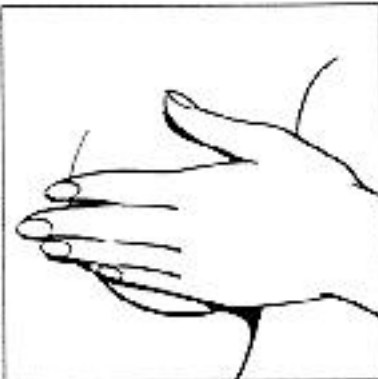
手で隠す・押さえる



乳首を描の間からのぞかせる



大ぶりの胸



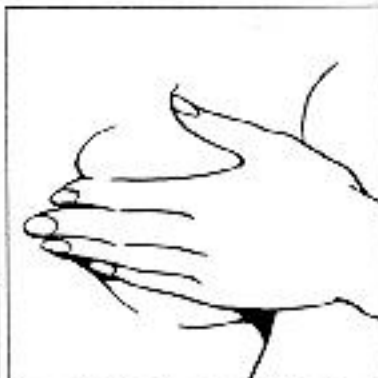
小ぶりの胸：手をあてがっただけ



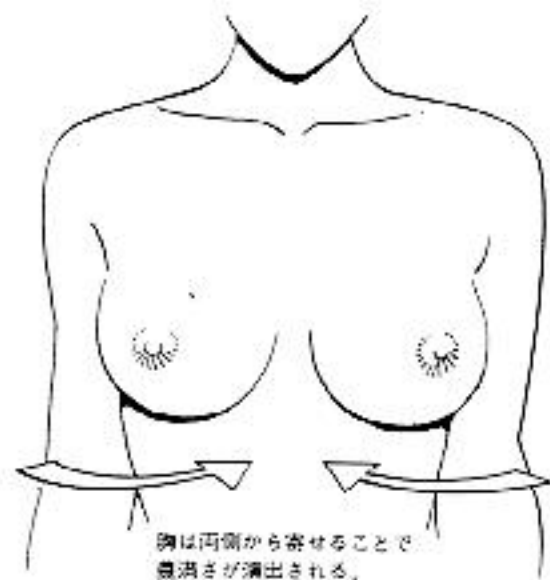
乳首の位置をずらして描くと、胸の
柔らかさと動きが過剰に表現される。



指を肉に埋まっているように
描くことで、豊満さを出す。



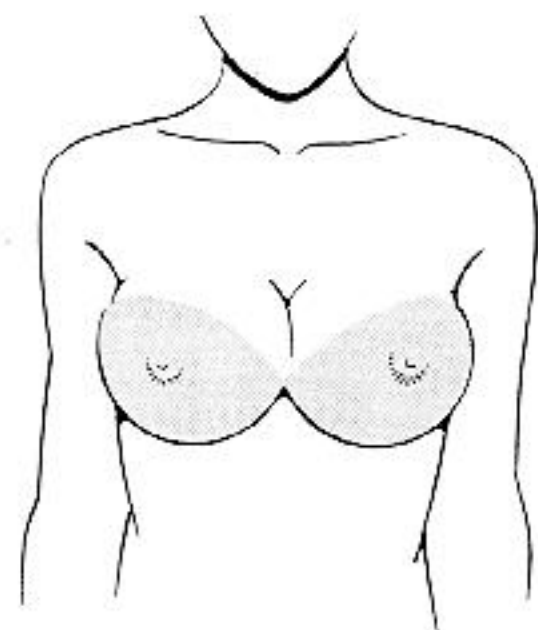
小ぶりの胸：上から押さえた



胸は両側から寄せることで
谷間が演出される。



胸を寄せる表現

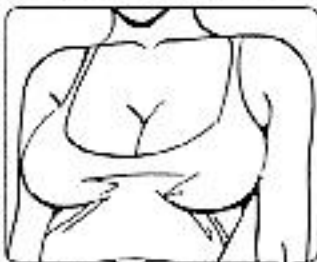


両腕で胸を抱えるように、乳房を寄せて谷間を演出。この時乳首をのぞかせる演出（抱えかた）もある。



中で乳房をかなり圧迫し、ムリさせると、こんなふうに胸が開いてても乳首を見せないです。

胸あき服とバスト表現



谷間のラインを描くこと
だけでとられると、妙
な胸になる。



胸の谷間と胸を演出する
ときはバストラインと谷間
のラインを考えて描く。



かなり胸があっても、
普通は谷間にならない。



胸の谷間は、衣服かブラで寄せて
見せる意図的な演出。らしい。

図解

ブラジジョンとバストライン

1 自然な形を見せる



セーラー服



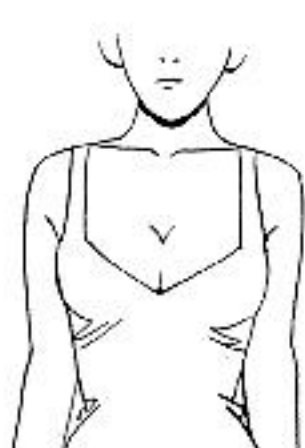
ドレス

2 胸を強調・演出する





ワンピース Y字カット



ワンピース V字カット



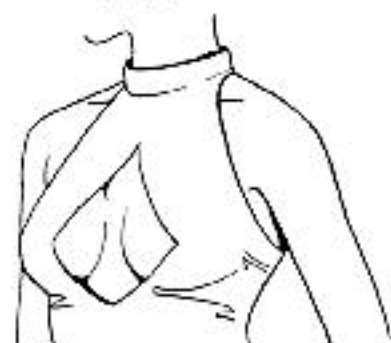
ワンピース U字カット



スクール水着

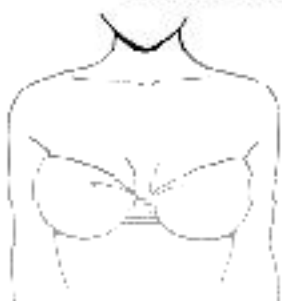


タンクトップ



ホルターネック

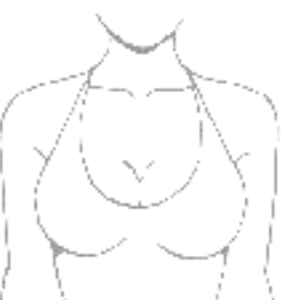
乳房のつきかたと演出効果



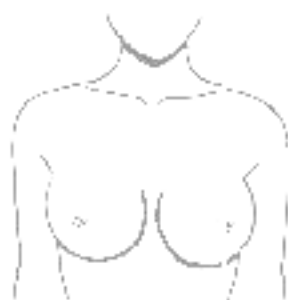
ノックダウンの締め付けで胸元が引きあがり



起し：Vタイプ



ふっくらと胸元が引きあがり胸元が引きあがり



起し：Uタイプ



外側からワイシャツで締める



締めてみるワウ

なお、各型が出来るのは骨格と肌のトキがよ。

おしりについて

おしりの割れ目は、
真正面から見ると
ほぼ直線。

股間は後ろから
見ても空間が
あいている。

おしりをうまく描くコツは
割れ目の描き方にあります。
背骨の延長として
考えましょう。

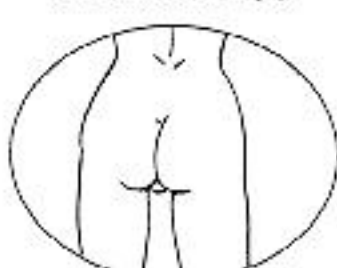
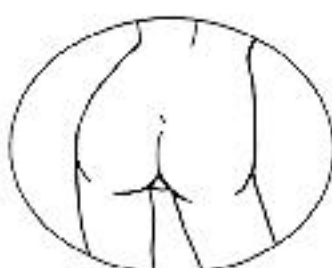
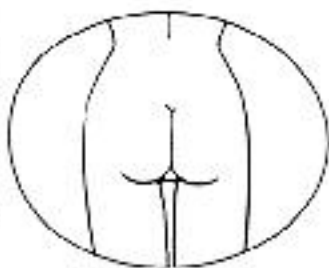
おしりの種類

おしりはメリハリのある
強いカーブで描くと
カッコ良くなり、
カーブが弱いと首弱な
ものになります。

たれていないが、臍弱なおしり

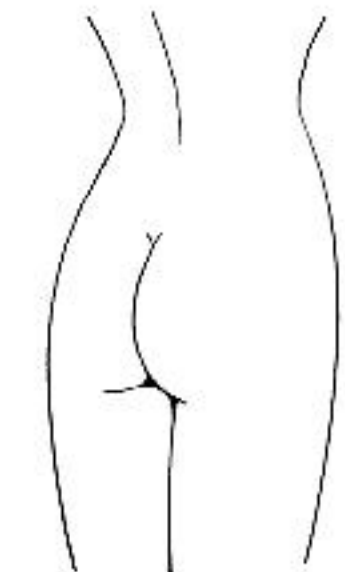
少したれたおしり

力強く張り出したおしり



いろいろな尻表現

リアルなお尻



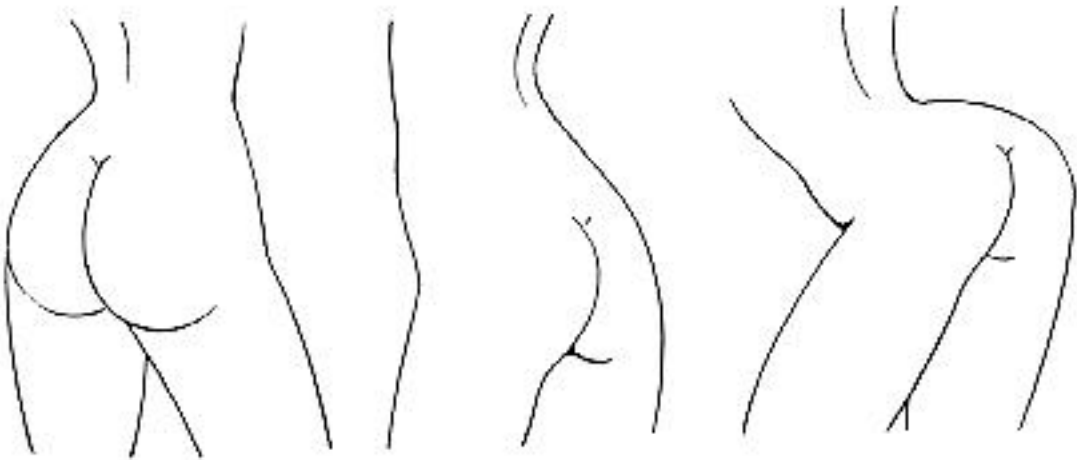
ヌードのお尻は、意外なほどシンプル。

お尻と桃の相似性

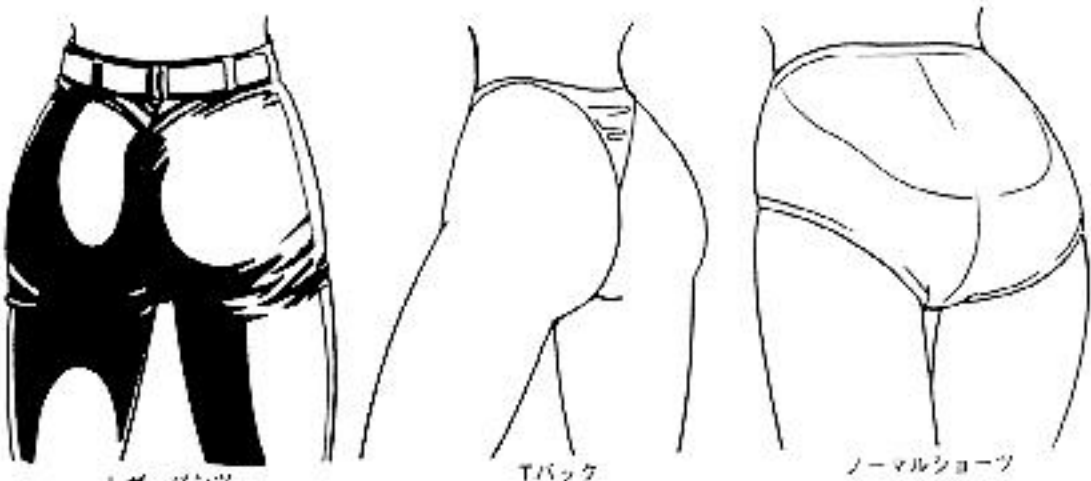
お尻は、よく桃にたとえられて、こんな感じにもよく見かけます。

実際にお尻がこう見えるのは、腰を下ろしたときか、見おろしたとき。

マンガのお尻



パンツをはいたお尻



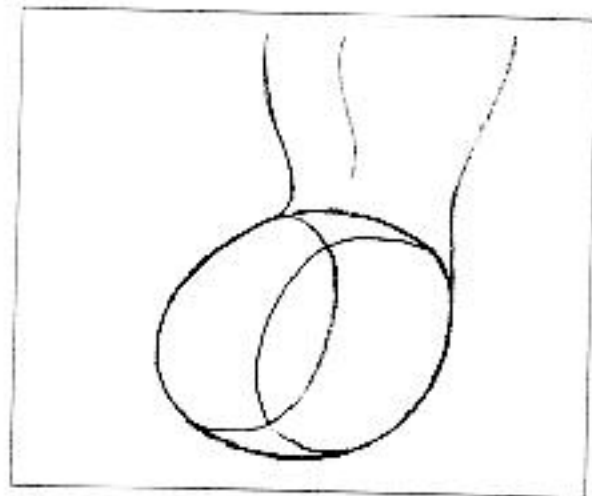
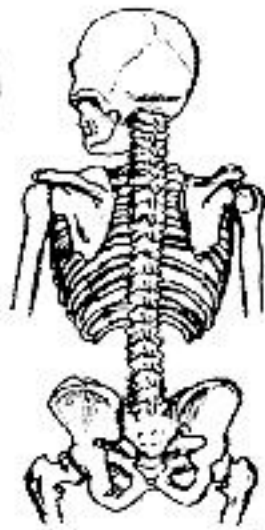
レザーパンツ

Tバック

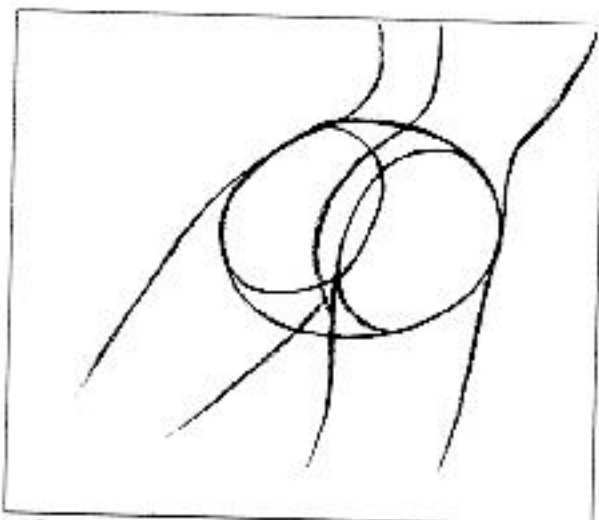
ノーマルショーツ

お尻をうまく描くにはコロンな、
背骨の延長線としてお尻の割れ目を
考えることにあります。

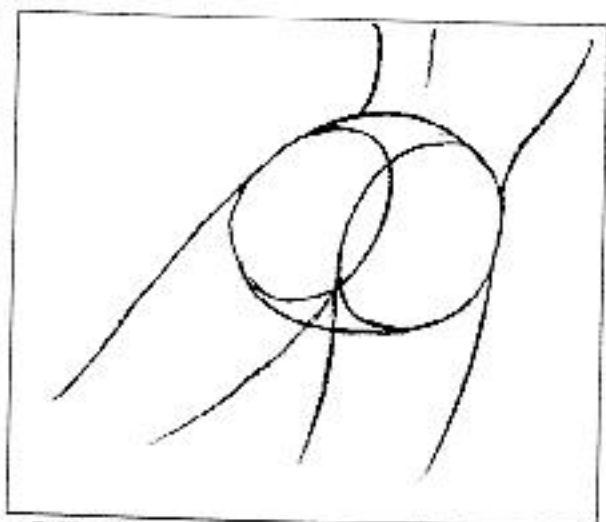
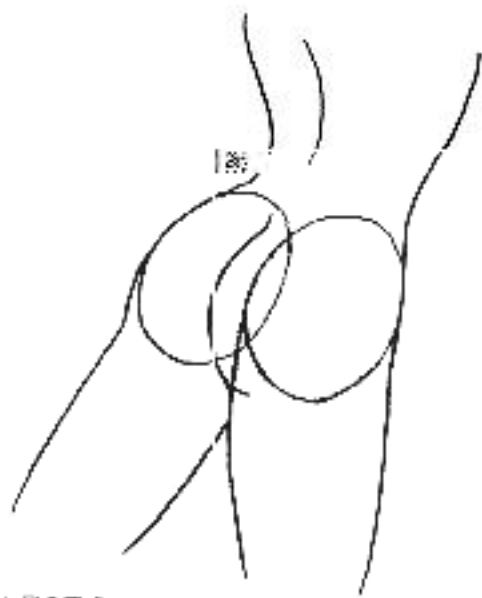
描き方



① お尻の部分のあたりを取る



② 体の曲線によって、背骨のラインをのびしてくる

③ 線を描く。
このままではお尻にならない

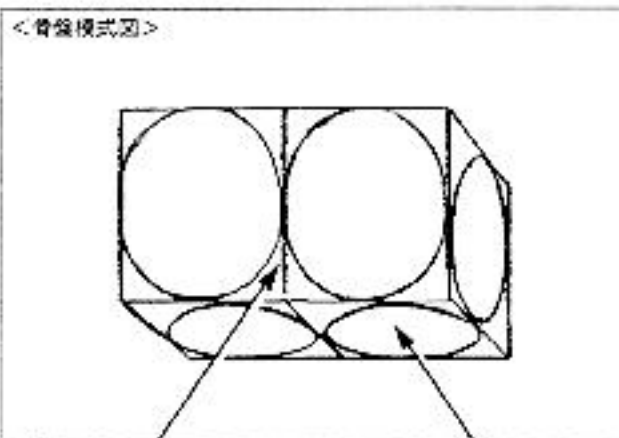
④ お尻の完成

お尻の割れ目が重要なわけ



お尻の割れ目の線がどう
はいるかは、合パンなど
スラックスのお尻を描く
ときにも必要になります。

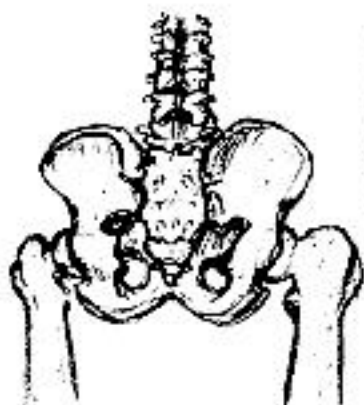
お尻の割れ目は背骨のラインの
延長であり、下半身の体の中心
を示す重要な線でもあるのです。



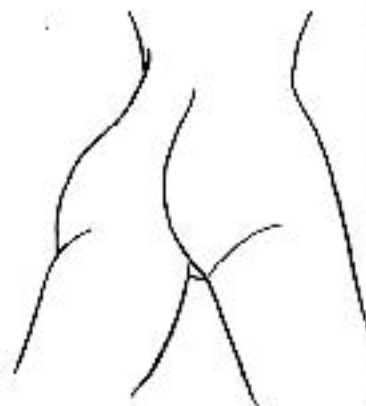
①

中心線。これが
お尻の割れ目になる

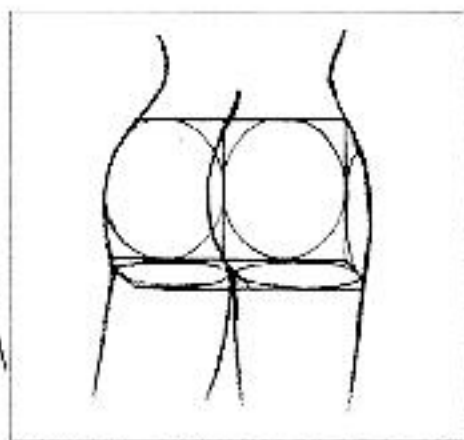
脚の太さを決める横円



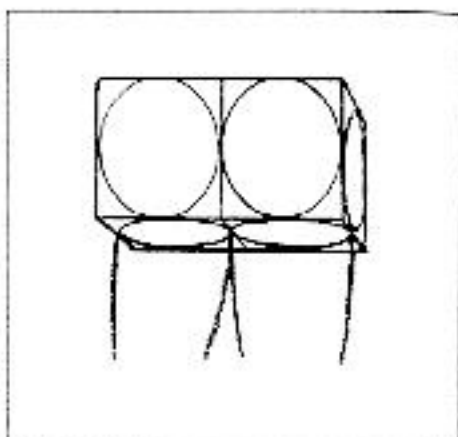
ローマンヒップ



脚を開いて立つ場合



③ カドを取って丸くする



② 角をにやす



左足が前するとき



そろえているとき



右足が前するとき

歩行とお尻の線

お尻の丸みを演出する

演出のバターン



正面からヒップをあわぐ



側面 お尻をつまみだす。



うつ伏せポーズ

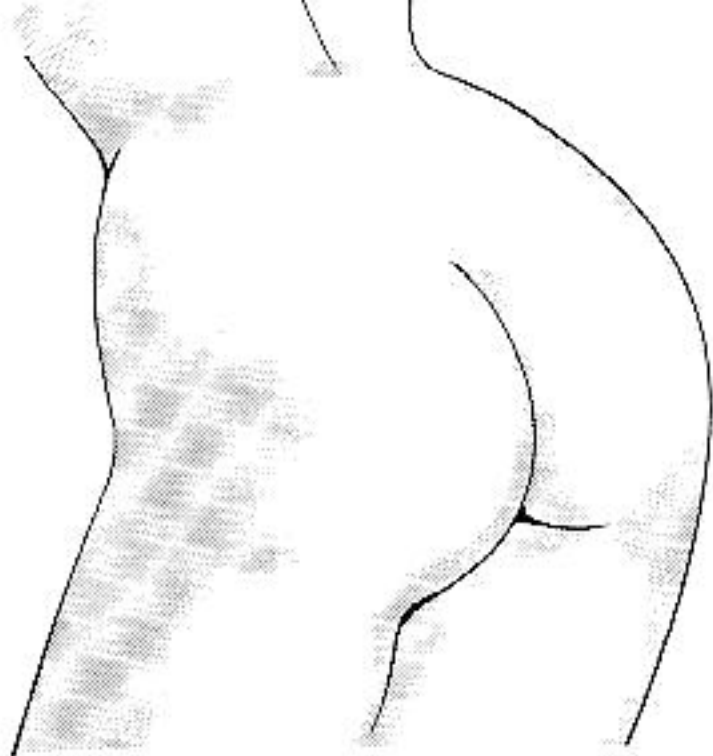
お尻側から見る



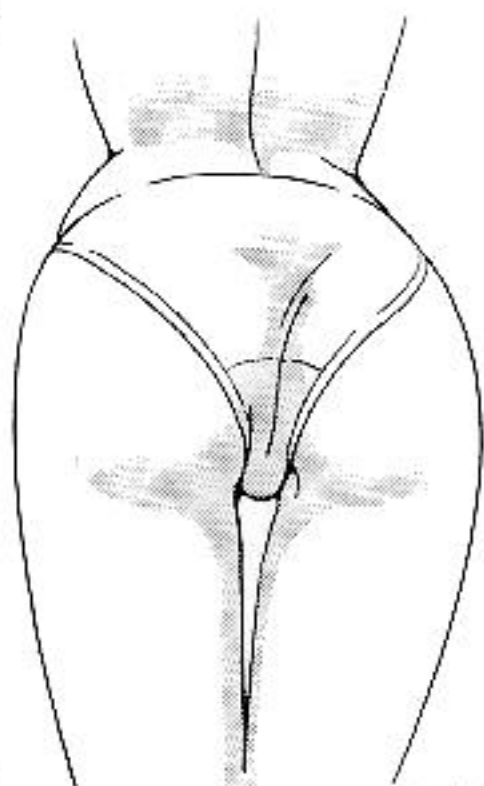
背中を見せるポーズから



お尻の丸さや立体感を演出するキース、アングルは、ある程度決まっています。



トーン処理で丸みや肉感を出す



下線の描き方。描き込みで存在感を出す



アングル、陰影表現で
アピールする。

5 お尻をひけてすわる

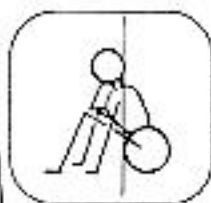
同じようなポーズでも、体書き
前よりしているか、
後ろよりしているかで、
股間の描写は違ってくる。



大腿骨を表現した場合



両手を後ろにつく…臀部より前にお尻を突き出して座った場合



股間部周辺部をちゃんと描くと淫靡になる



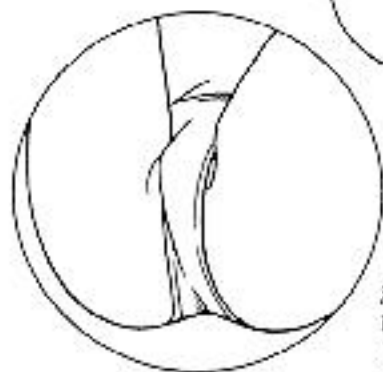
前かがみタイプ…お尻を臀部より後ろに引いて座った場合



お尻の線をいれることで、後ろにひっくり返っていることが表現される。また、脚を広げて坐ってるだけのものとの差別化もはっきりする。



もっと涼手に後ろにひっくり返った場合
(ベッドからおこちた)

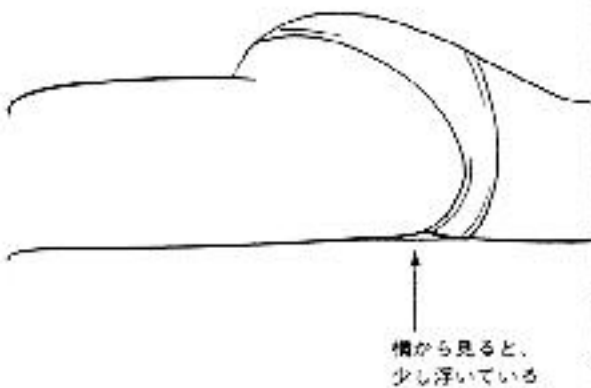


脚を閉じてひっくり返った場合

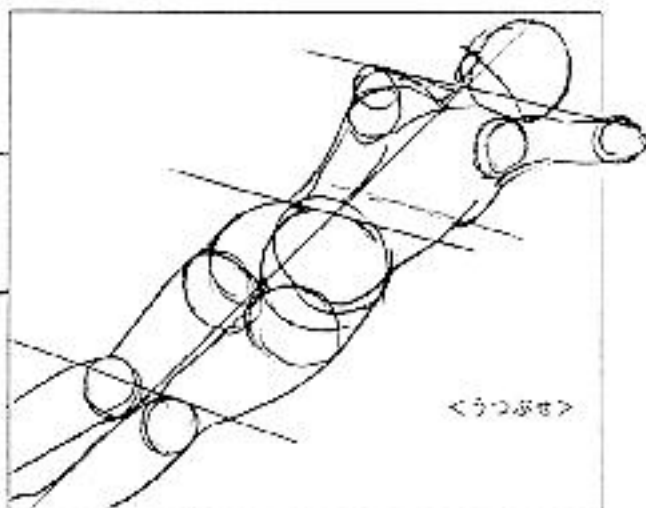
足の生え際のラインと下着の線との間をあけると股間のリアリティが表現される。



動きがあるときは太ももに筋肉のラインをいれるとダイナミックさが出る。



横から見ると、
少し浮いている

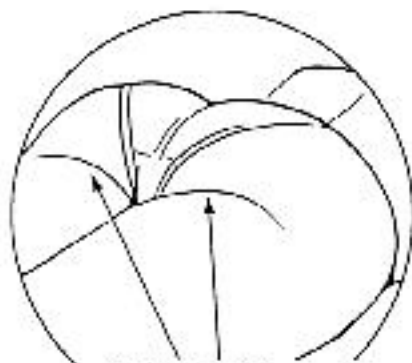


<うつぶせ>



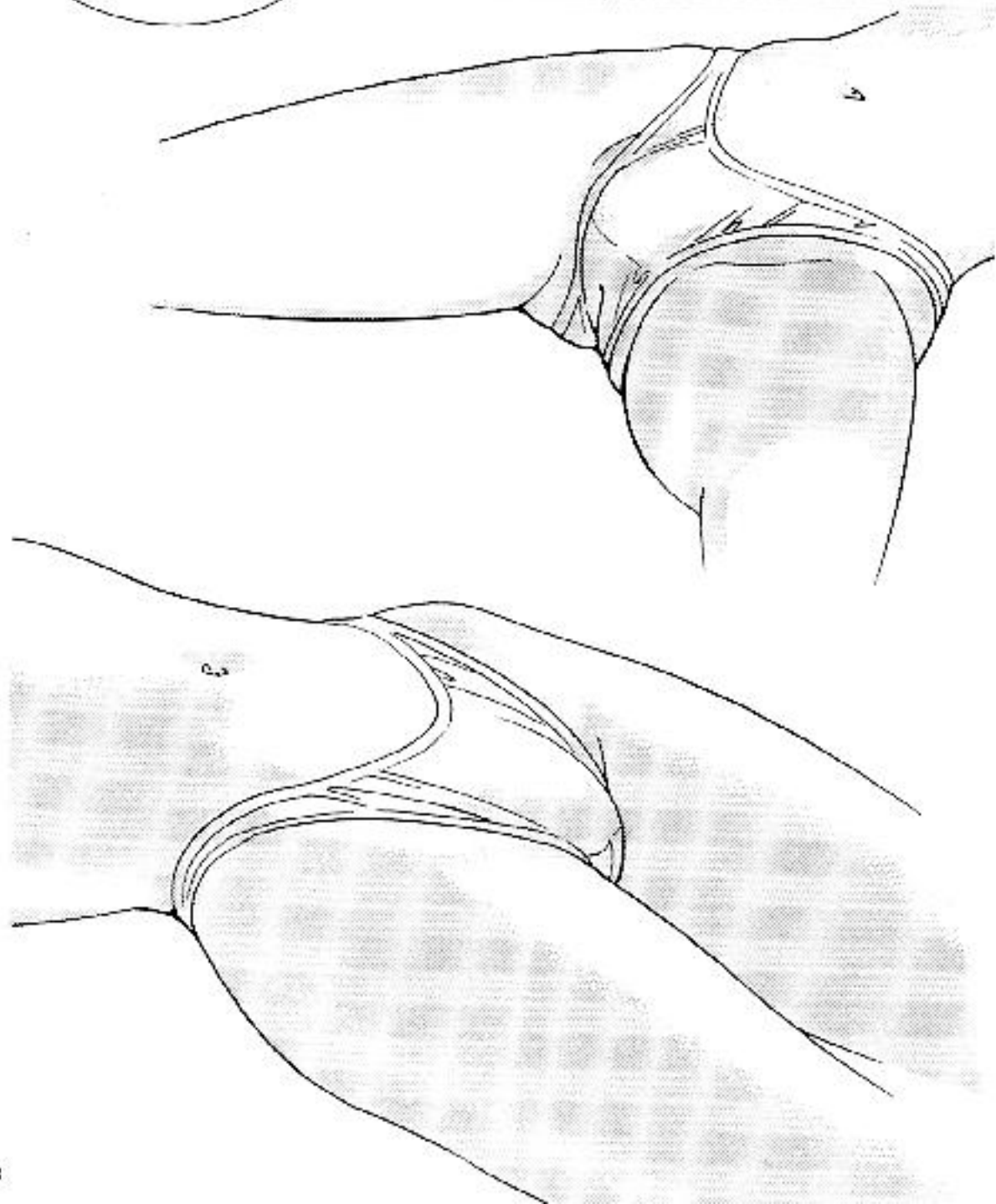
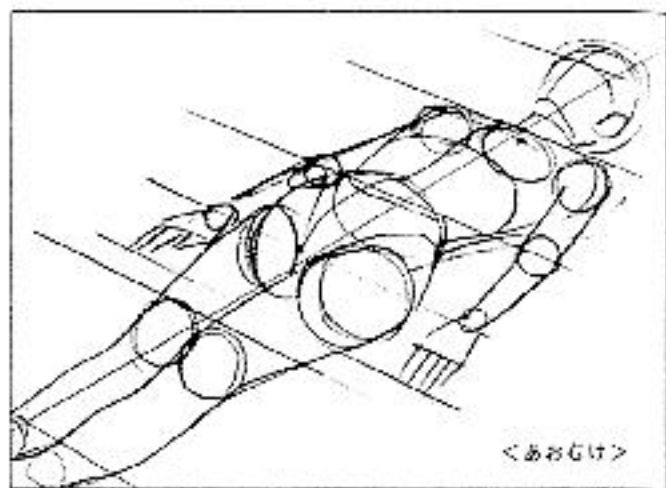
シワをいれるときは、
中心線を入れてみる。

太もものラインをお尻に食い込ませることで、メリハリがつく。

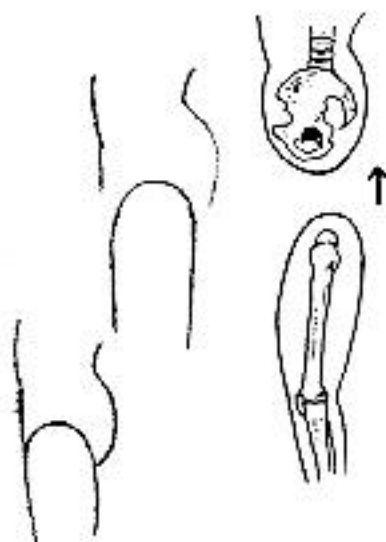


ポイントになる線。
このラインをいれないと、
のっぺりしてしまう。

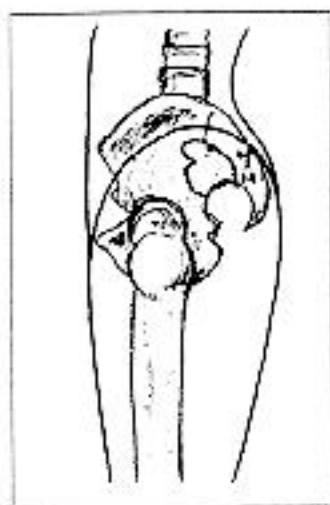




脚



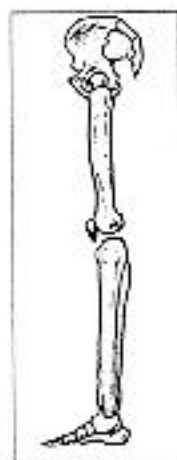
シャープな太股を描きたいときは、先に脚を描きたい太さで描いて、あとからお尻の形を整える。



脚を描くとき、お尻からそのまま太股をつなげると、太くなる。

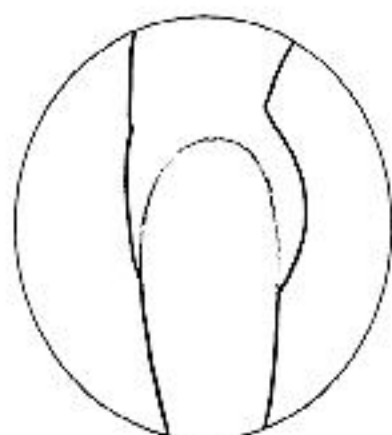


レントゲン写真

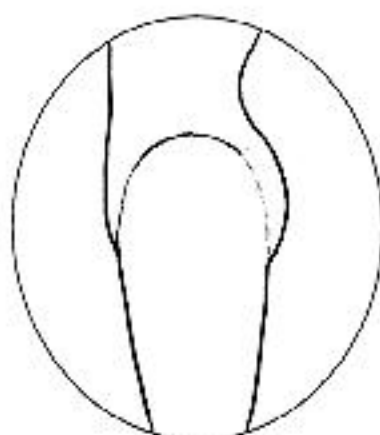


骨格模式図

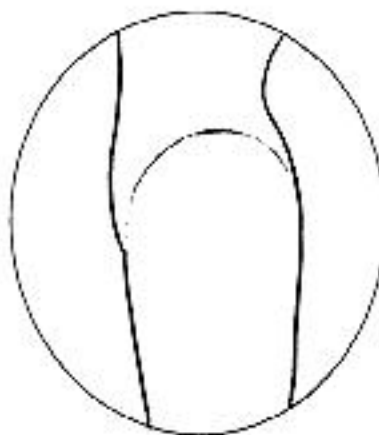
脚の骨格／脚を描く



細い太股



中くらいの太股

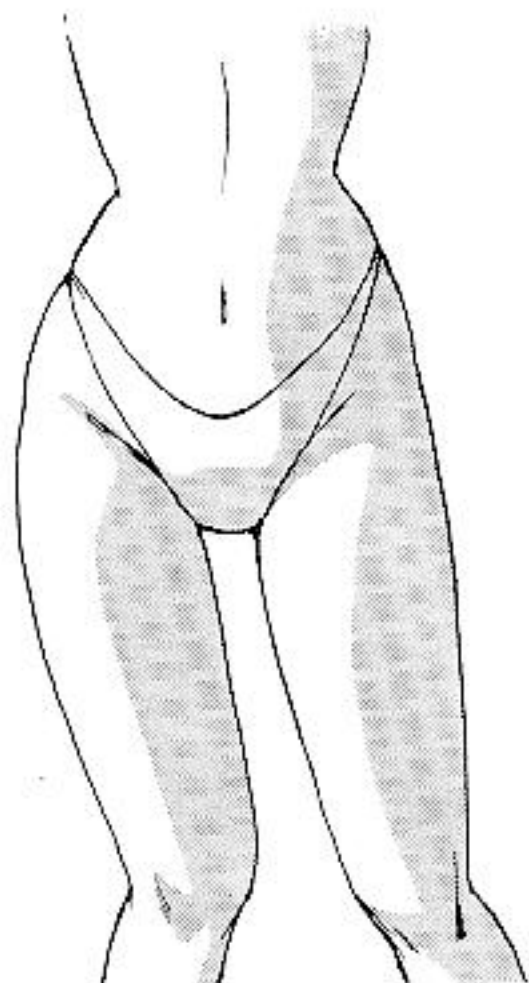


太い太股

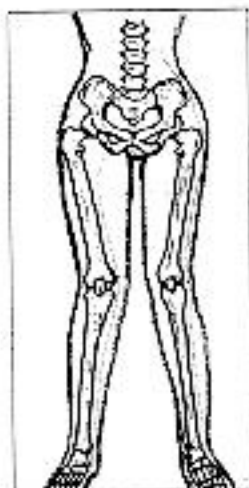
側面から見るお尻と脚



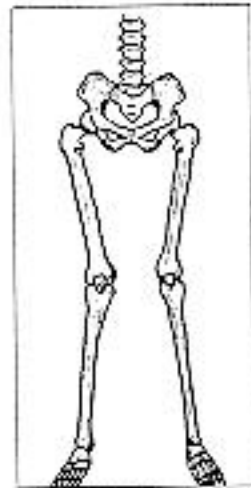
骨盤にはめ込む太ももの太さで、お尻の形が決まると考えます。



ハイレグは太股部（脚のはえぎわ）がよくわかる



レントゲン写真



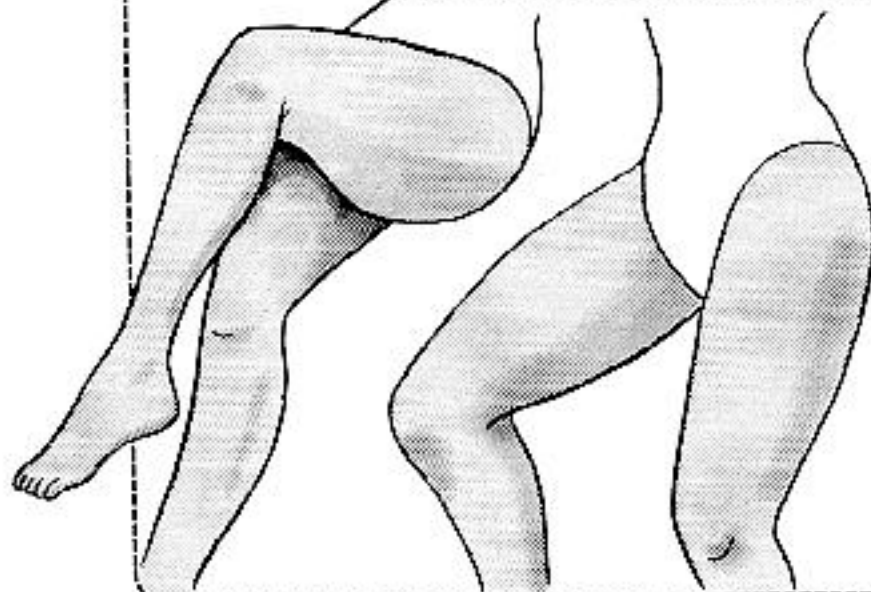
<骨格模式図>



お尻の部分

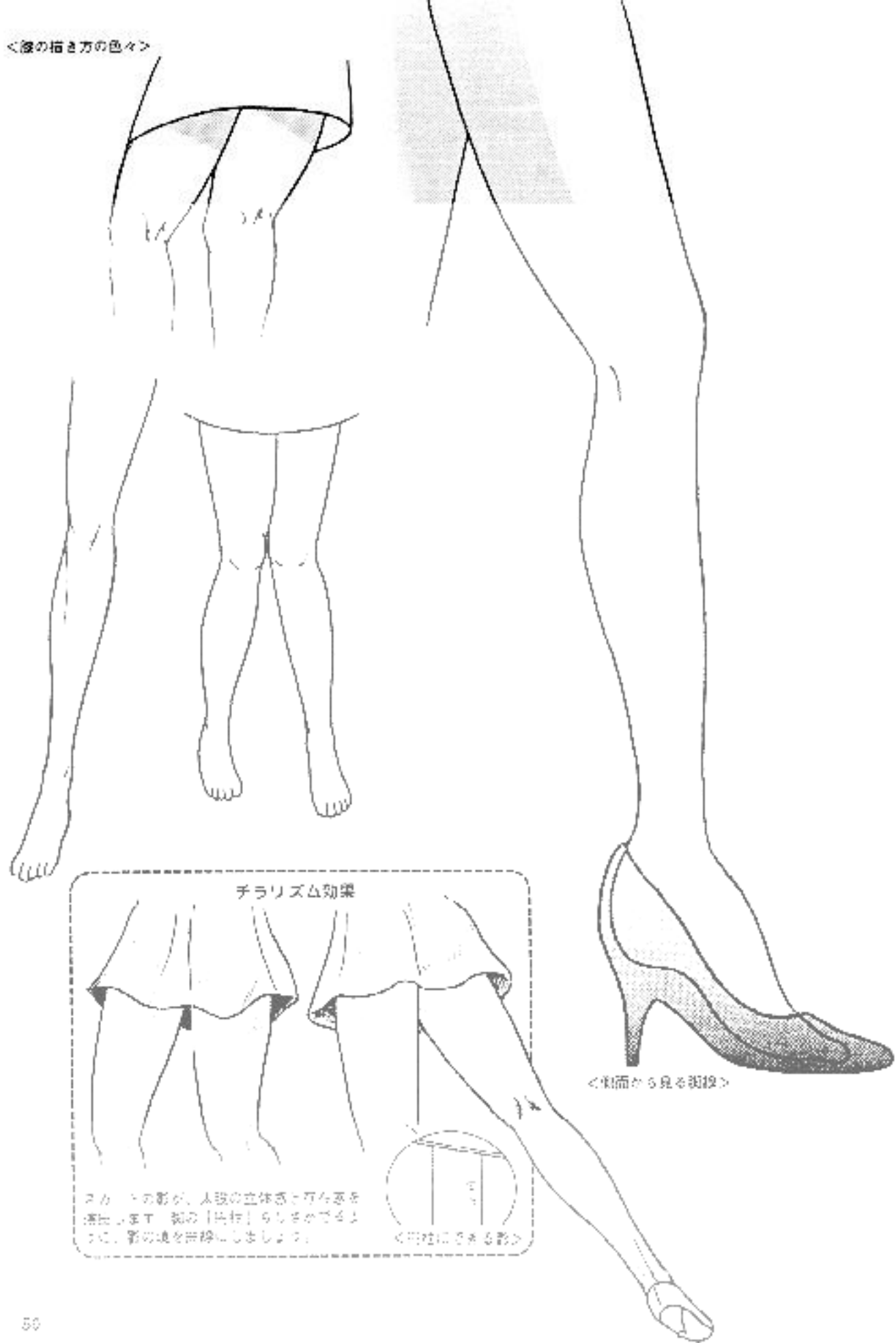
太ももの部分

太股は太いくふともものふしぎ>



正面から見るとスリムな脚でも、ボーズやアンクルによって、太ももが太いことがわかります。

<線の描き方の色々>



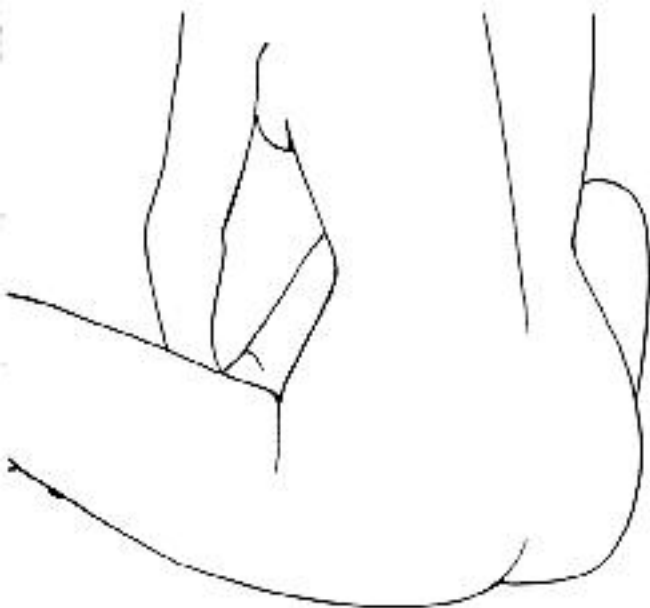
チラリズム効果

スカートの影が、人足の立体感と存在感を演出します。裾の「折れ」らしさができるように、影の境を併線しましょう。

<併線にできる影>

<側面から見る街撮>

お尻と太股の肉は柔らかく、
体重のかかりかたど、床の
硬さで形が変わります。

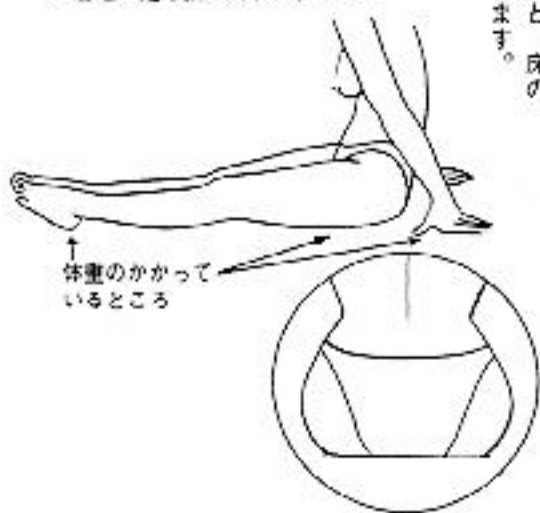


<硬い床>

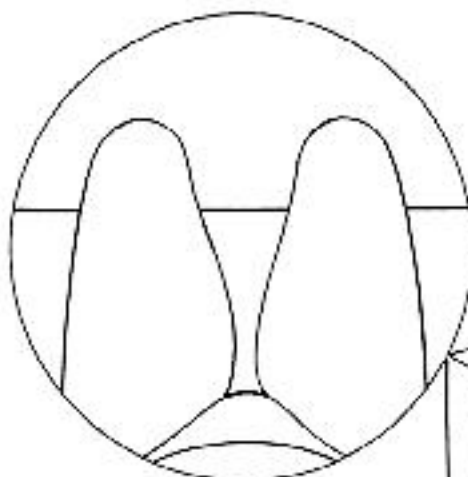
<両手で体を支え、お尻を浮かせると...>



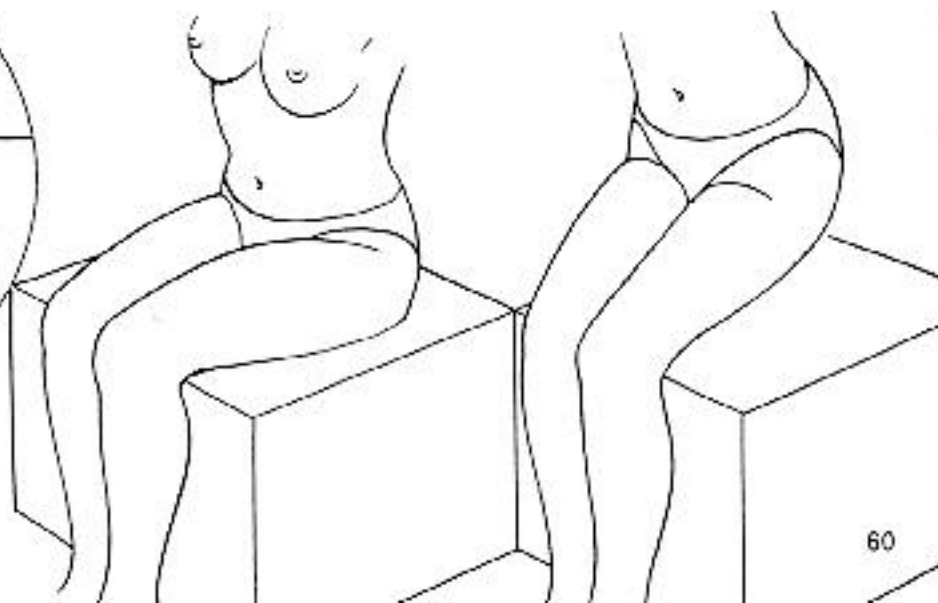
<普通に足を投げ出してすわる>

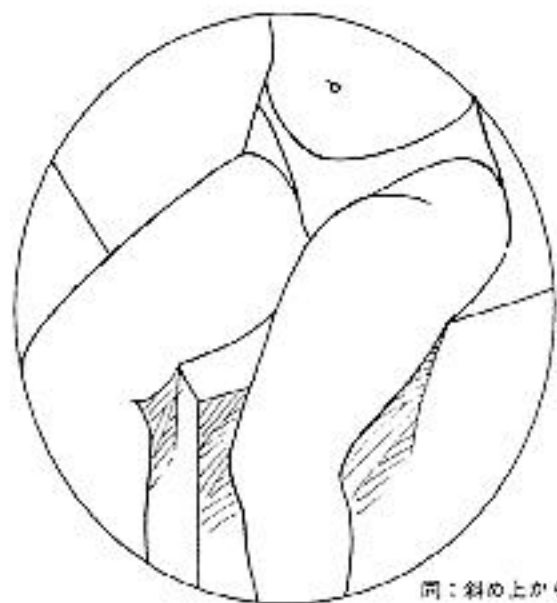


<イスにすわる：太股の変化>

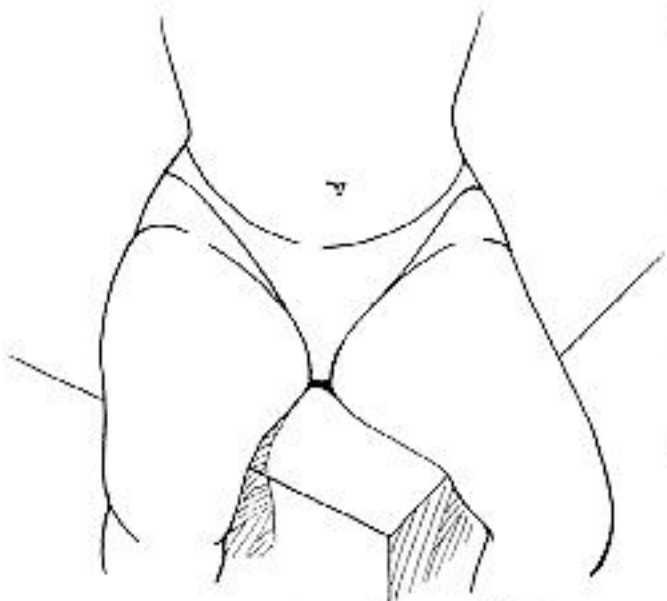


上から見た図

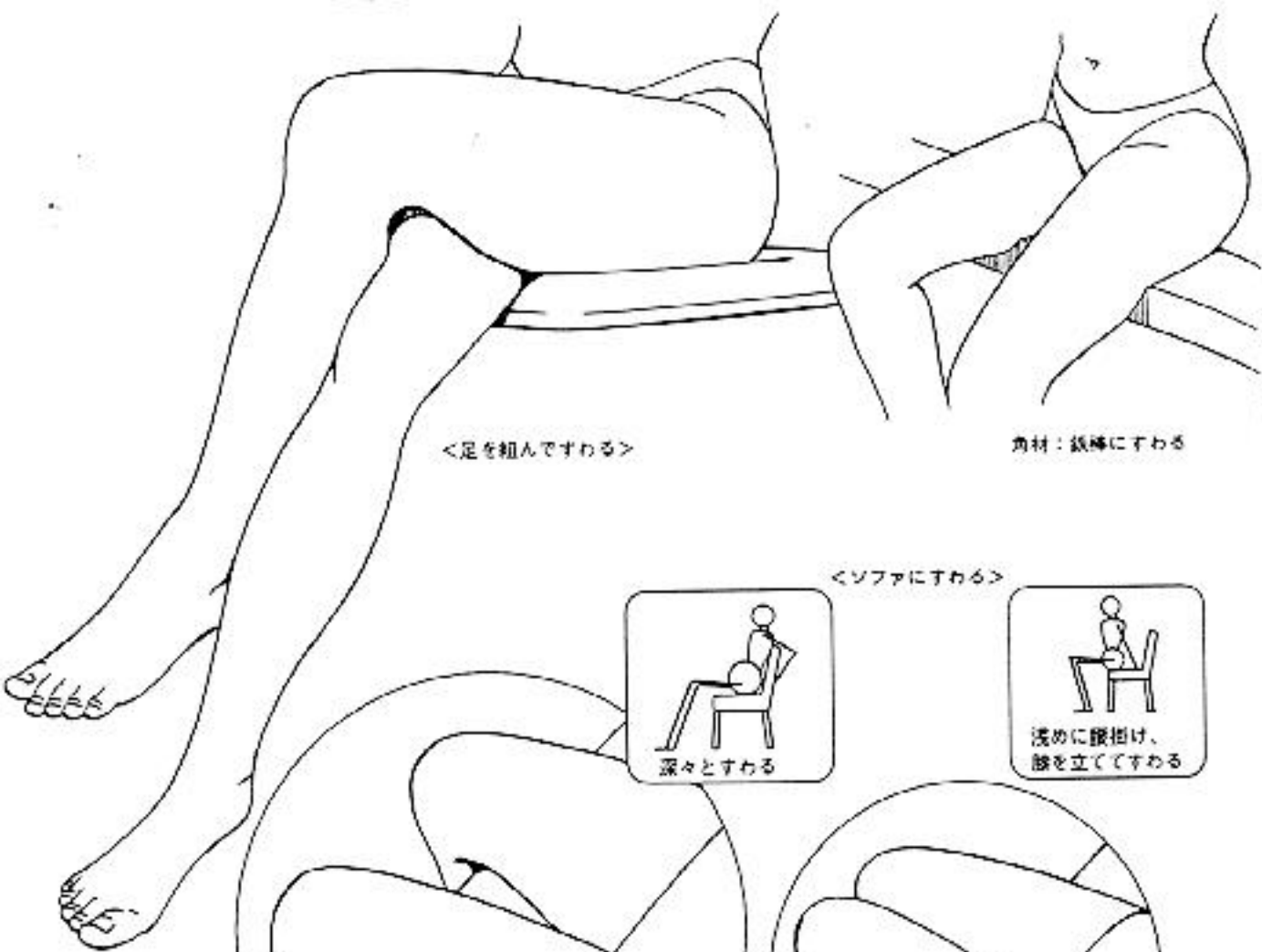




同：斜め上から



＜両足を投げ出して低いイスに大股に＞



＜足を組んですわる＞

角材：鉄棒にすわる

＜ソファにすわる＞

